

機関リポジトリ新任担当者研修 (2015.9.10)

# 「研究者から見た機関リポジトリ」

(広島大学大学院理学研究科) 山崎 勝義

## 広島大学 学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

広島大学 広島大学図書館

トップページ サイトマップ

学術情報リポジトリとは | コンテンツの登録 | コンテンツの検索 | 広島大学の刊行物 | FAQ | リンク | ドキュメント

一覧

広島大学著者一覧

部局一覧

主題一覧

コンテンツ種類一覧

広島大学の刊行物

博士学位論文

広島大学学術情報リポジトリは、広島大学構成員の作成した学術成果物を保存し、無償で広く公開します。新たな学術成果発信の場としてご利用下さい。

本リポジトリに登録されているコンテンツの著作権は、著者、出版、学協会などが有します。コンテンツの利用は、著作権法に規定されている範囲または著作権者の許諾の範囲で行ってください。

検索する。 Nothing will not come to you in time. Wait for some time. We are waiting for. something that we seek.

登録する。

- コンテンツ登録方法
- 著作権について
- 登録のメリット

Total Number of Items : 22346 件

学術情報リポジトリとは

学術情報リポジトリの概要・メリットなどを説明します。

広島大学の刊行物

HiRに登録された学内の刊行物リストです。

HiR ニュースレター

リポジトリ広報誌です。

ダウンロード数通知サービス

著者の皆様へ論文のダウンロード数を定期的にお知らせします。

HiR 注目コンテンツ

第4回 機関リポジトリと著作権 Q&A(改訂版)

お知らせ

RSS

「広島平和科学」第34巻～第36巻を登録しました。	2015-09-04
「IPSHU研究報告シリーズ」第48号～第50号を登録しました。	2015-09-03
"IPSHU English Research Report Series" No.30を登録しました。	2015-09-03
平成26年度「教職課程担当教員養成プログラム報告書」を登録しました。	2015-08-27

一覧

## 講演内容

1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
3. リポジトリ登録の効果
4. リポジトリコンテンツから出版へ
5. リポジトリの拡充・普及戦略(案)

1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
3. リポジトリ登録の効果
4. リポジトリコンテンツから出版へ
5. リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

学術情報リポジトリと私・・・

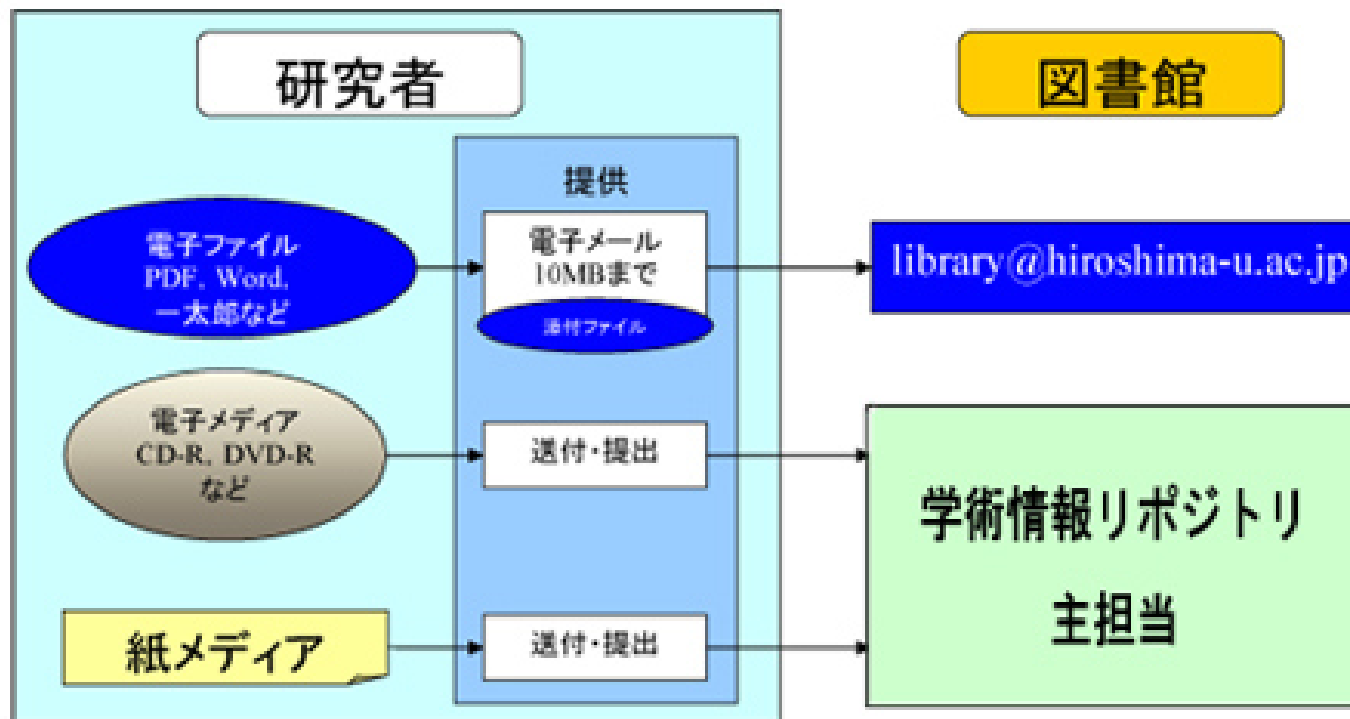
それは、1通のメールから始まった・・・

2006.3.8 (16:47) 図書館 (萱野氏, 西園氏) → 教員

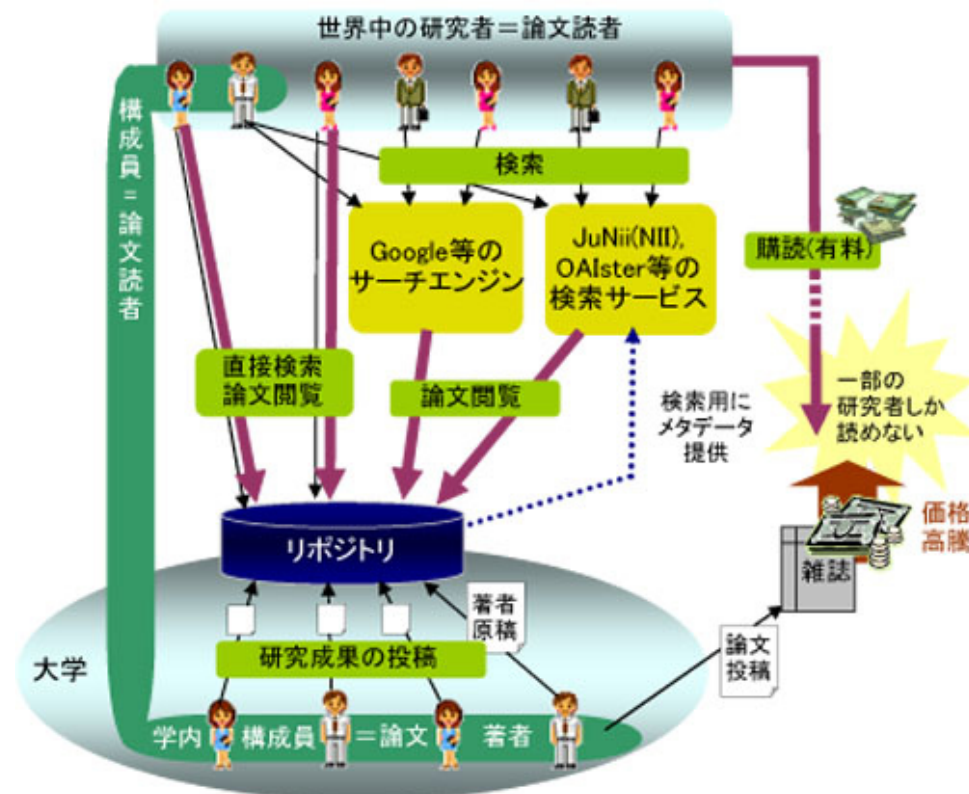
・ 広島大学学術情報リポジトリのご案内

「卓越したご研究を展開されている先生方に…」

「研究成果物であれば、論文・報告書・学会発表・スライド・オリジナル原稿など種類を問わず…」



- ・ 広島大学のブランドイメージの向上，また広島大学の有する**学問的資産**を周知する広報活動のひとつとして，ぜひともこのリポジトリにご参加いただきたい…
- ・ コンテンツさえ提供していただければ，実際の**登録作業・著作権確認・メンテナンス**などは**図書館職員**が責任をもって対応します。



# 「リポジトリ」って何？

repository [研究社 新英和中辞典第6版]

1a 貯蔵所, 倉庫

b 納骨堂, 埋葬所

2 [知識などの] 宝庫 [of]

3 [秘密などを] 打ち明けられる人 [of]

repository [英辞郎]

- ・ 収納(保存)場所, 倉庫
- ・ 博物館, 美術館
- ・ 地下埋葬所, 墳墓
- ・ [知識などの] 宝庫, 豊富な蓄え
- ・ [秘密を打ち明けられる] 信頼できる人



ウィキペディア  
フリー百科事典

ナビゲーション

- [メインページ](#)
- [コミュニティ・ポータル](#)
- [最近の出来事](#)
- [最近更新したページ](#)
- [おまかせ表示](#)
- [アップロード \(ウィキメディア・コモンズ\)](#)
- [ウィキペディアに関するお問い合わせ](#)

[ヘルプ](#)

[本文](#)

[ノート](#)

[編集](#)

[履歴](#)

## 機関リポジトリ

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

**機関リポジトリ**(きかんりポジトリ)とは、研究機関がその知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムである。

ここでいう知的生産物としては、[大学](#)にあっては、[学術雑誌](#)掲載論文([査読](#)を経ていない状態の版(プレプリント)や[査読](#)を経た状態の版(ポストプリント)のいずれをも含む)や電子化された学位論文、[紀要](#)などを指すほか、日常的な教育・研究活動の中で生み出される文書、講義ノート、教材等も含まれる。

研究機関が機関リポジトリを設置する主要な目的としては次のふたつが挙げられる。

- 機関の研究成果を自主的に保存・公開することにより、[オープン・アクセス](#)化に寄与すること。
- 出版されないものや失われやすいもの(灰色文献。例えば学位論文や研究報告書類)を確保し保存していくこと。



- 機関の研究成果を自主的に保存・公開することにより、**オープン・アクセス**化に寄与すること。
- **出版されないもの**や失われやすいもの(灰色文献、例えば学位論文や研究報告書類)を確保し保存していくこと。



## repository [Wikipedia (Eng)]

A repository is a place where data is stored and maintained.  
A repository can be

- a place where data is stored
- a place where **specifically digital data** is stored
- a site where **eprints** are located
- a place where **multiple databases or files are located for distribution over a network**
- a computer location that is directly accessible to the user without having to travel across a network
- a place where anything is stored for probable reuse
- a place to store digital data

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyam/pages/results/monograph/>

## 「yam@広島大」 monograph

書名	最新版	更新日	ファイル 
1. 「電磁気学における単位系」	第5版第5刷	12/06/04	 (482KB)
2. 「成分と基底の変換の相違点」 - 群論と行列力学の基礎を理解するために -	第4版第5刷	12/28/04	 (436KB)
3. 「物体の速度と物質波の速度」	第2版第2刷	02/15/04	 (176KB)
4. 「磁気モーメントとg値」	第2版第2刷	11/21/98	 (143KB)
5. 「歳差運動の物理学」 <small>藤村 陽先生監修</small>	第5版第1刷	05/16/04	 (741KB)
6. 「Clebsch-Gordan係数と射影演算子」	第4版第3刷	10/06/04	 (855KB)
7. 「化学反応速度理論の徹底的理解」 - 微視的可逆性から遷移状態理論まで - ----- 旧版復刊「遷移状態理論の基礎仮定」 <sup>※1</sup> - 遷移状態理論導出過程の理解 -	第5版第4刷 ----- 第2版第4刷	12/18/04 ----- 10/30/99	 (750KB) -----  (309KB)
8. 「熱力学第2法則と状態関数」	第3版第2刷	07/15/03	 (446KB)

2006.8.10 (20:25) 私 → 図書館 (リポジトリを担当)

私は、学部学生や大学院生の物理化学の理解に役立つ(と思える)解説書を拙ホームページにて無料公開配布しております。

このような解説書でも、学術情報リポジトリに登録することは可能なのでしょうか。

「yam@広島大」monograph Access #12415 since 10/26/99

漁火書店「疑問の発生シリーズ」(1981年創刊)のPDF版です。  
Monographであると同時にmonologueです。

すべてフリー(¥0)ですので、御自由にダウンロードして御利用下さい。  
手書きしていたものもPDFファイルに“復刻”中です。



2006.8.11 (8:59) 図書館(上田氏) → 私

ご質問のありました**解説書**ですが、もちろん**登録可能**です。  
リポジトリ登録に際しまして下記の2点を御教示ください。

1. この解説書の**著作権**は先生ご自身にございますでしょうか？
2. 発行元の**漁火書店**は先生がPDFファイルを公開することを許可されていますでしょうか？

上記2点がクリアできましたら、**すぐにでも登録**できます。

的確・明解

「Monograph」シリーズおくづけ奥付

---

Clebsch-Gordan係数と射影演算子

---

2000年 10月 9日 初版第1刷  
2002年 10月 22日 第2版第4刷  
2004年 2月 24日 第3版第3刷  
2006年 9月 16日 第4版第4刷  
2007年 5月 20日 第5版第1刷

---

著者 山崎 勝義  
発行 漁火書店

検印 

---

印刷 ブルーコピー  
製本 ホッチキス

---

# 「Monograph」シリーズ <sup>おくづけ</sup> 奥付

-4-

最後の  $Z_{AA}$ ,  $Z_{AA}$  の式は、一般には  $N_A$  は 莫大数量 (1mol =  $6.02 \times 10^{23}$  molecule) であるから  $N_A - 1 \approx N_A$  とでき

$$Z_{AA} = \frac{\pi d^2 c_{AA} N_A}{V}, \quad Z_{AA} = \frac{1}{2} \frac{\pi d^2 c_{AA} N_A^2}{V^2}$$

よって Moore 物理化学の p. 153 (4.44) の式になる。(よって、いままでは (4.44) の形となり、 $Z_{AA}$  の右辺は  $\frac{1}{2}$  が省略してあるというわけ、この教科書の進行の時点で教授した教官は、 $\frac{1}{2}$  が省略の 勉強不足として書かれるべきかもしれない (テンヤオヤ))

○ 反応速度式の  $\sigma_2$  の意味以上に、説明が絡みつきを最後に考える。

反応式  $A+B \xrightarrow{k_1} \dots$  と書いたとき、3分子にまつ  $A+A$  と  $B+B$  の反応は進まない。進むのは  $A+B$  のとき、即ち  $A$  と  $B$  が衝突するとき (もちろん衝突定数は  $k_1$  の値となる) だけである。つまり  $k_1$  は  $Z_{AB}$  のことである。(例として、単純衝突理論に則して)

$$k_1 = Z_{AB} \exp\left(-\frac{E_a}{RT}\right) \quad \text{ここで } \frac{N_A}{V} = \frac{N_B}{V} = 1 \text{ molecule cm}^{-3}$$

古典衝突理論に則して

$$Z_{AB} \exp\left(-\frac{E_a}{RT}\right) \sum_{l=0}^{\infty} \frac{1}{l!} \left(\frac{E_a}{RT}\right)^l \quad \text{である。}$$

よって、もちろん  $k_1$  は \* である (衝突数) というのも決まらざる (  $Z_{AA}$  を用いた例 )、よって  $k_1$  に対して何の意味もない。

つまり分母は 2 をもたない ( $\sigma_2 = 1$ )  $k_1$  とする必要がある。

次に  $A+A \xrightarrow{k_2} \dots$  と書かれたものを考えたい。先  $A+B$  と相当するものはない。つまり  $A$  と  $B$  の区別がないのであるから、 $k_2$  は  $Z_{AA}$  のことである。(上記の  $k_1$  を  $k_2$  とし、 $Z_{AB}$  と  $Z_{AA}$  と書ける)。こうして  $k_2$  の式は combination とすると  $N_A^2 C_2$  の分母の 2 をいじり、 $\sigma_2 = 2$  の  $k_2$  とする必要がある。

“要するに、分母の 2 はコンビネーションの分母の 2 によってある!!”  
 (同じ分子同士は必ず共有する。という意味の 2 ではない。同じ分子同士の場合、直線的にわかるようにやはり多いから。(先例では  $Z_{AB} = 30 < 55 = Z_{AA}$  である (全体の密度は同じ))

読者の意見を下さることを。(内線4732)

(1/2)への排斬!

---

初版 1981年2月9日発行

---

著者 山崎勝義

---

発行 漁火書店

---

印刷 7"IL-CO-

---

© 1981

(1/2)への排斬!

---

初版 1981年2月9日発行

---

著者 山崎勝義

---

発行 漁火書店

---

印刷 7"IL-CO-

---

© 1981

## 奥付

1722年(享保7年)11月

大岡忠相「新作書籍出板之儀に付触書」

何書物ニよらず 此以後新板之物 作者并板元之実名  
奥書ニ為致可申候事

---

Clebsch-Gordan係数と射影演算子

---

2000年 10月 9日 初版第1刷  
2002年 10月 22日 第2版第4刷  
2004年 2月 24日 第3版第3刷  
2006年 9月 16日 第4版第4刷  
2007年 5月 20日 第5版第1刷

---

著者 山崎 勝義  
発行 漁火書店

検印 

---

印刷 ブルーコピー  
製本 ホッチキス

---

2006.8.11 (10:33) 私 → 図書館(上田氏)

### 【著作権】

すべて、私自身が自分の手で著したものですので、いわゆる著作権は私にあると考えております。リポジトリへの登録に関して、共著者から異論は絶対に出ない状況にあります。

### 【書店名】

この書店名(=漁火書店)は、私が奥付の体裁を整えるために、実在しない書店名を記しているものでして、営利目的の団体として存在しない書店名です。



2006.8.11 (15:11) 図書館 (上田氏) → 私

下記のような事情でしたら、リポジトリへの登録は**全く問題  
ございません**。14～16日まで夏期休暇を取りますので、それ  
以降の登録になると思います。ご了承下さい。

このような資料は、**リポジトリにとって非常に有用であり、  
利用も予想される資料である**と思います。今後また執筆され  
ることがございましたら、ぜひお知らせ下さい。

非常に有用 → 喜び

2006.8.25 (18:17) 私 → 図書館 (上田氏)

私のMonographのサイトから、一つの資料「電磁気学における単位系」を登録いただきありがとうございました。

その他の15個の資料に関する登録は、どのように進められることになるか、御連絡いただけると幸いです。(自分自身で行う必要があるか、あるいは図書館学情整備の方で行っていただけるとのことです。)

2006.8.28 (8:55) 図書館 (上田氏) → 私

連絡が遅れまして申し訳ございません。

資料は図書館ですべて登録を致しますので、先生には何も行って頂く必要がございません。これから、順次登録を行っていく予定です。

何もしなくていい → 喜び

## (余計な話ですが…) 教員対応tips

2006.8.28 (8:55) 図書館 (上田氏) → 私

連絡が遅れまして申し訳ございません。

．．．

言い訳がましくなるのですが、資料を頂きましてから、8/28に行われるワークショップの発表資料の作成や、8/30からの研修の準備等で、登録が遅れておりました。大変申し訳ありません。なるべく早急に登録を行いますので、もうしばらくお待ち頂けないでしょうか？

2006.9.4 (8:55) 図書館 (上田氏) → 私

8/29日午後から9/1まで研修があり、不在にしておりました。

返事が遅れまして申し訳ありません。

キーワードを頂きましてありがとうございました。確認の上、登録いたします。

丁寧・誠実

2006.9.6 (12:03) 図書館(上田氏) → 私

今回大変特色のあるコンテンツを提供頂きましたので、広島大学学術情報リポジトリの注目コンテンツとして、リポジトリのページでこのMonographシリーズを紹介できればと考えております。

2006.9.6 (16:21) 図書館(上田氏) → 私

紹介文の件、引き受けて頂きましてありがとうございました。リポジトリは本年スタートしたばかりで、まだまだ発展途上のサービスですので、このように理解のある先生方の存在は、非常に嬉しいですし、励みにもなります。リポジトリ担当者としましては、リポジトリで公開することによって、1人でも多くの方がこれらの資料を活用してくれたらと思っております。

注目コンテンツ！  
Monographシリーズ！

# 2006.9.19 第1回注目コンテンツ掲載

## HIR注目コンテンツ

広島大学図書館 > 学術情報リポジトリ

### 第1回 Monographシリーズ (理学研究科 [山崎勝義教授](#)) ★★★★★

理学研究科化学専攻の山崎勝義教授が執筆された物理化学分野のMonographシリーズです。物理化学の学習過程において生じた疑問点を攻略するというスタンスで書かれたこのシリーズは、物理化学に興味のある多くの人にぜひお勧めしたい本です。

#### 著者である山崎先生からの紹介文

Monographシリーズの各書は、物理化学の基本事項を深く正しく理解することを目的として書かれた単行書です。基本事項の中には、初学者だけでなく研究者にさえ難解な原理や誤解しやすい法則がありますが、それらがなぜ難解なのか、どうして誤解しやすいのか、という原因を教科書から読み取ることは困難です。そもそも教科書は、「書かれていること=理解すべきこと」というスタンスで著されており、読者が感じる難解さを著者も感じたことがあるとか、読者と同じ誤解に著者自身も陥ったことがあるというような、読者と著者による「疑問の共有」が成立しにくい書物です。そこで、著者自身が抱いた疑問や誤解の経験を示すと同時に、解決目標を明確にしつつ、著者がどのような"武器"を用いてどのように疑問を"攻略"したのかを記した解説書があれば、理解への険しい障壁を低くすることができるのではないかと考えたことが、Monographシリーズの執筆に至った経緯です。Monographシリーズの主な対象読者は大学院学生ですが、学部学生でも最前線の研究者

## HiR注目コンテンツ



### 第1回 Monographシリーズ



理学研究科 化学専攻 分子反応化学講座  
山崎勝義 教授

#### 概要

理学研究科化学専攻の山崎勝義教授が執筆された物理化学分野のMonographシリーズです。物理化学の学習過程において生じた疑問点を攻略するというスタンスで書かれたこのシリーズは、物理化学に興味のある多くの人にぜひお勧めしたい本です。



#### 山崎先生からの紹介文

Monographシリーズの各書は、物理化学の基本事項を深く正しく理解することを目的として書かれた単行書です。基本事項の中には、初学者だけでなく研究者にさえ難解な原理や誤解しやすい法則がありますが、それらがなぜ難解なのか、どうして誤解しやすいのか、という原因を教科書から読み取ることが困難です。そもそも教科書は、「書かれていること＝理解すべきこと」というスタンスで著されており、読者が感じる難解さを著者も感じたことがあるとか、読者と同じ誤解に著者自身も陥ったことがある

1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
3. リポジトリ登録の効果
4. リポジトリコンテンツから出版へ
5. リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyam/pages/results/monograph/>



## 「yam@広島大」 monographシリーズ (1999年～)

書名	最新版	更新日	ファイル 
1. 「電磁気学における単位系」	第5版第5刷	12/06/04	 (482KB)
2. 「成分と基底の変換の相違点」 - 群論と行列力学の基礎を理解するために -	第4版第5刷	12/28/04	 (436KB)

### Monograph (モノグラフ) とは？

雑誌の総説よりはずっと長く，分担で書くというよりは**単著**で，教科書的にある学術分野を網羅しているというよりは**specificなテーマについて掘り下げて**ある，というような本

「大隅典子の仙台通信」 <http://nosumi.exblog.jp/3680025/>

旧版復刊「遷移状態理論の基礎仮定」※1 - 遷移状態理論導出過程の理解 -	第2版第4刷	10/30/99	 (309KB)
8. 「熱力学第2法則と状態関数」	第3版第2刷	07/15/03	 (446KB)



## 第1回 Monographシリーズ (理学研究科 山崎勝義教授) ★★★★★

理学研究科化学専攻の山崎勝義教授が執筆された物理化学分野のMonographシリーズです。物理化学の学習過程において生じた疑問点を攻略するというスタンスで書かれたこのシリーズは、物理化学に興味のある多くの人にぜひお勧めしたい本です。

Monographシリーズの各書は、物理化学の基本事項を深く正しく理解することを目的として書かれた単行書です。基本事項の中には、初学者だけでなく研究者にさえ難解な原理や誤解しやすい法則がありますが、それらがなぜ難解なのか、どうして誤解しやすいのか、という原因を教科書から読み取ることは困難です。そもそも教科書は、「書かれていること=理解すべきこと」というスタンスで著されており、読者が感じる難解さを著者も感じたことがあるとか、読者と同じ誤解に著者自身も陥ったことがあるというような、読者と著者による「疑問の共有」が成立しにくい書物です。そこで、著者自身が抱いた疑問や誤解の経験を示すと同時に、解決目標を明確にしつつ、著者がどのような"武器"を用いてどのように疑問を"攻略"したのかを記した解説書があれば、理解への険しい障壁を低くすることができるのではないかと考えたことが、Monographシリーズの執筆に至った経緯です。Monographシリーズの主な対象読者は大学院学生ですが、学部学生でも最前線の研究者でも、筆者と疑問点を共有していただける方であれば全員が対象読者です。

最近、大学生向けの教科書が数多く出版され、理解を助けてくれる良書も増えていますが、それらの書籍は決して安価とはいえないのが実情です。基本事項を正しく理解するために高額の出費が必要となる現状を少しでも改善し、自然科学(特に物理化学)の原理や法則をきちんと理解したいという意欲ある方々に対して、微力ながら支援できるものを発信したいという意識で、これまでMonographシリーズの無料配布を続けてきました。

Monographシリーズによって物理化学の基礎事項の理解が少しでも進むことがあるならば、同シリーズの使命は達成したといえます。PCの世界においてフリーウェアやオープンソースという発想があるのと同様に、学術図書の世界においても、フリーの単行書が真の理解を支える時代が到来することを信じて、これからもMonographシリーズの執筆および無料配布を継続していく所存です。

## 「yam@広島大」 Monographシリーズのポリシー

### ● 筆者の不理解を吐露

「理解すべきこと」を示すのではなく、「筆者の不理解の歴史」を白状して、筆者と読者とで疑問を共有

### ● 完全無料

- 「理解したい人」から金銭を要求しない
- (大学の)教科書・専門書の高騰
- 出版社を利用しない(書籍にしない)
- 知識の獲得量や理解の深さが出資額に依存すべきでない

### ● ネットワーク配信

- 書籍(冊子)ではなく、ネットワーク上でのPDF配布・随時更新
- 最近の学生は、なんでも、まず検索 → web上配付

# 「Monographシリーズ」 まえがき例

---

## Clebsch-Gordan係数と射影演算子

---

### §0 はじめに

角運動量は、量子力学のテキストの中で1つの章を占める重要な物理量であるが、同時に難解な(と思われている)物理量である。軌道角運動量や球面調和関数まではなんとか理解できたものの、スピン角運動量やPauli行列あたりで混乱し始め、角運動量のカップリングと

<sup>3</sup> 実は、この“格闘”の軌跡は、(恥ずかしながら)筆者自身が学生時代に経験したものです。

めるものがあつたと、M. E. Rose (山口恭彦, 森田正人 訳)「角運動量の基礎理論」(みすず書房, 1971)<sup>2</sup>に手を伸ばすもその格調の高さに脱帽<sup>3</sup>, という展開を経験された方もおられるのではないかと想像する。Clebsch-Gordan係数の理解にこのような障壁が生じてしまうのは、まるで理論のための理論であるように格調高くClebsch-Gordan係数を解説している(という印象を与える)成書が多く、結果的に、Clebsch-Gordan係数を身近なものとしてとらえる機会が少ないことが一因であると思われる。

## Maria S.-Curie (キュリー夫人)

Q「あなたは、なぜ発明したものを特許申請しないのですか？そうすれば、エジソンのように大金持ちになれるのに。」

A「科学者の喜びは新しいことを発見することです。私が発見したものを特許申請しないのは、**科学者が発見した知識は、すべての人間に属すべき共有財産**だと思っているからです。自分ひとりのものとするより、すべての人が利用できた方がよいと思っています」

[Y. T. Lee, *Mol. Sci.*, 1(1), A0001 (2007)]

## Röntgen (レントゲン)

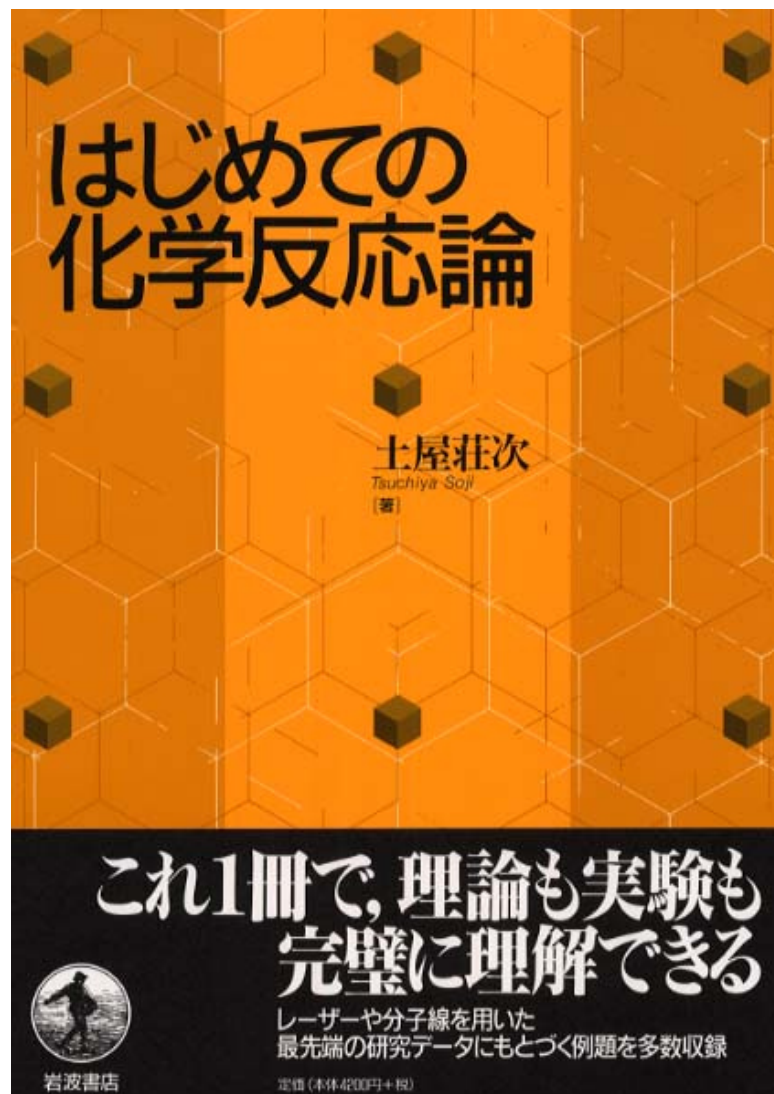
レントゲンは**科学の発展は万人に寄与すべきである**と考え、X線に関し**特許等によって個人的に経済的利益を得ようとは一切せず**、ドイツの破滅的インフレの中で癌のため1923年2月10日に逝去した。

[Wikipedia (Jpn.)]

## 成果を無償で社会に還元する

### 科学者本来の意識と態度

## 専門書出版の実状



2003年9月26日発行 岩波書店 ¥4,200

2,000部売れるまで改訂版  
を出せない



更新・訂正の遅延

出版社が販売冊数を予想  
して価格を設定



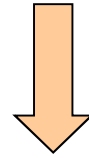
専門書の高騰



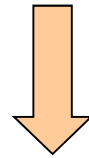
短期間で絶版

## 最近の専門書出版の動向

たくさん売れない難しい本よりも、  
たくさん売れる簡単な本の増加



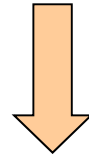
「絶対わかる〇〇」  
「単位が取れる〇〇」  
「マンガで見る〇〇」  
「三日でわかる〇〇」



本質の理解は困難(であろう)

# 学生による授業評価・学生の要望

理解しやすい講義



~~難しい内容より簡単な内容~~



「簡単なことをわかりやすく解説」ではなく  
「**難しいことでもわかりやすく解説**」が重要

1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
- 3. リポジトリ登録の効果**
4. リポジトリコンテンツから出版へ
5. リポジトリの拡充・普及戦略 (案)



[理学研究科・理学部概要](#)[ホーム](#) > [ニュース・トピックス一覧](#) > 記事: 2006年12月26日[専攻・学科・附属施設等](#)[ニュース・トピックス](#)[ホーム](#)[大学院受験情報](#)[記事詳細](#)[学部受験情報](#)[学生支援情報](#)[問合せ先](#)[質問コーナー](#)理学研究科・理学部への質問は  
こちらどうぞ ▶[研究者への軌跡](#)

私達の歩んできた道 ▶

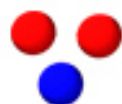
2006年12月26日

**【トピックス】化学専攻の山崎勝義教授のMonographが、広島大学学術情報リポジトリの第1回注目コンテンツに選ばれました**化学専攻の山崎勝義教授のMonographが、広島大学学術情報リポジトリ(HIR)の[第1回注目コンテンツ](#)に選ばれました。

山崎教授からの紹介文(HIRから転載):

Monographシリーズの各書は、物理化学の基本事項を深く正しく理解することを目的として書かれた単行書です。基本事項の中には、初学者だけでなく研究者にさえ難解な原理や誤解しやすい法則がありますが、それらがなぜ難解なのか、どうして誤解しやすいのか、という原因を教科書から読み取ることは困難です。そもそも教科書は、「書かれていること





# 分子科学会

Japan Society for Molecular Science

最終更新日:2007年10月05日(金)

HOME

学会について

入会案内

賛助会員

分子科学会各種賞

分子科学会沿革

分子科学討論会(仙台)

分子科学会シンポジウム

電子ジャーナル  
Molecular Science

共催・協賛(行事)

## お知らせ

- ▶ 2007.09.28
  - ・ 分子科学会と研究室のホームページのリンク
- ▶ 2007.09.21
  - ・ 分子科学会ロゴマーク入選作品
- ▶ 2007.09.04
  - ・ Molecular Science HPを独自ドメイン<http://j-molsci.jp/>に移設
- ▶ 2007.07.09
  - ・ 第1回分子科学会シンポジウム 報告
- ▶ 2007.07.06
  - ・ 分子科学会入会のご案内
- ▶ 2007.06.29
  - ・ ウェブジャーナル創刊! Molecular Science

総合研究大学院大学  
**大学院生募集中!**  
構造分子科学専攻/機能分子科学専攻  
**分子科学研究所**

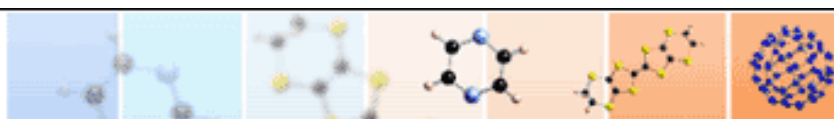
X線スペクトル計測のお手伝いは



株式会社X線技術研究所

 **Spectra-Physics**  
A Division of Newport Corporation





[トップページ](#)

[編集委員長より](#)

[最新号](#)

[巻号一覧](#)

[New Product](#)

[Archives](#)

[投稿規定](#)

[編集委員会](#)

## ‡ Archives (教育的価値の高いテキストのライブラリー)

Archivesは、価値の高い学術的テキストを広く教育・研究に役立てて頂くための電子ライブラリーです。Archives原稿は、分子科学会の研究者による査読・精読を経た後で当ホームページに公開しますが、公開後も読者からの質問や意見を受けて著者が必要な改訂を行っていきます。通常の刊行物や原著論文にはない双方性と柔軟性を確保するために、Archivesは分子科学会ホームページでのみ公開していきます。Archivesをより一層充実していくために、[編集委員会](#)まで、是非皆様からのテキストのご紹介をお願い致します。

Vol. 1 (2007), No. 1

[刊行物種別の公式 \(前掲\)](#)

AC0001

編集委員会

更新履歴

Vol. 1 (2007), No. 1

[角運動量の公式 \(前編\)](#)

AC0001

田中 武彦

公開日: June 29, 2007

[PDF (788K, 102ページ)]

[Clebsch-Gordan係数と射影演算子](#)

AC0002

山崎 勝義

公開日: June 29, 2007

[PDF (888K, 74ページ)]

[電磁気学における単位系](#)

AC0003

山崎 勝義

公開日: June 29, 2007

[PDF (352K, 28ページ)]

[溶媒効果とMO計算](#)

AC0004

佐藤 啓文

公開日: June 29, 2007

[PDF (696K, 52ページ)]

## Web

### 「教えて!goo」

#### 原子分子物理のゼーマン・スペクトルについて

##### Q. 質問

水素原子のエネルギー準位を1sから2pへの光吸収のゼーマン・スペクトルを磁束密度の大きさが $B = 0.5 \text{ T}$ と $B = 50.00 \text{ T}$ の時について示せ。  
ただし、電子エネルギーを $E$ , スピン軌道結合定数を $\zeta$ , ボーア磁子を $u$ とせよ。

他学科ながら, この授業を取ったのを後悔しました・・・  
どうか手解きお願い致します。

##### A. 解答

例えば, ここ

[http://w3p.phys.chs.nihon-u.ac.jp/~takizawa/tex/ ...](http://w3p.phys.chs.nihon-u.ac.jp/~takizawa/tex/)

とか, あとPDFですが,

[http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyam/pages/results/monograph/ ...](http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyam/pages/results/monograph/)

とか, いかがでしょうか.

## 出村雅彦氏 (物質・材料研究機構)

### メタン水蒸気改質反応の平衡転化率

さらに、基礎的なことをちゃんと理解したい人には、参考文献に挙げた

「化学ポテンシャルと平衡定数」小口達夫, 梶本興亜, 山崎勝義 著

を、読むことを強くお勧めする。しっかりと、手を抜かずに、平衡の概念を解説している良書だと思う。これは、**広島大学の山崎先生のモノグラフシリーズ**の一つで、シリーズの中でもよくダウンロードされるそうである。山崎先生、このような良書を公開していただいていることを、感謝致します。

## 東工大物理学科wiki 使えるサイトのリンク集2 (理系のサイト)

<http://www23.atwiki.jp/physics/pages/18.html>

「yam@広島大」 monograph

# 漁火書店「疑問の発生シリーズ」(1981年創刊)のPDF版

# **いい感じ**にいろいろ載ってる

## Twitter

田口善弘 (中央大学理工学部物理学科)

@Yh\_Taguchi:

「yam@広島大」物理化学Monographシリーズ

物理学者じゃないみたいだけど，物理の教科書としても **あなどれない**内容  
とラインアップ。少なくとも「統計熱力学における古典統計と量子統計の  
関係」はよく書けてる。僕はここまで書けん。

りおかんぽす

@riocampos:

広島大 反応物理化学研究Gの山崎勝義教授による，理系大学生(院生?)向  
け講座。 **非常に質がよい**。

「yam@広島大」monograph

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/kyam/pages/results/monograph/>

## 「2ちゃんねる」 物理化学の教科書でお勧めは？

415 :あるケミストさん:2006/06/20(火) 19:19:47

今アトキンスの2, 3章を授業でやっているのですが他に分かりやすい本って無いですか？

416 :あるケミストさん:2006/06/21(水) 15:23:22

>>415

最初つーことは式だらけの熱力学か？何読んでもわかんないよ  
(わかるように書いてない + 厳密な部分はごまかして適当に書いてるから)  
413の佐々さんの薄い本でも読んだら。

あとは、このNo.8がお勧め。言っておくけど熱力学の公式いっぱい覚えても意味ないよ。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kyam/pages/results/monograph/>

417 :あるケミストさん:2006/06/21(水) 21:28:01

>>416

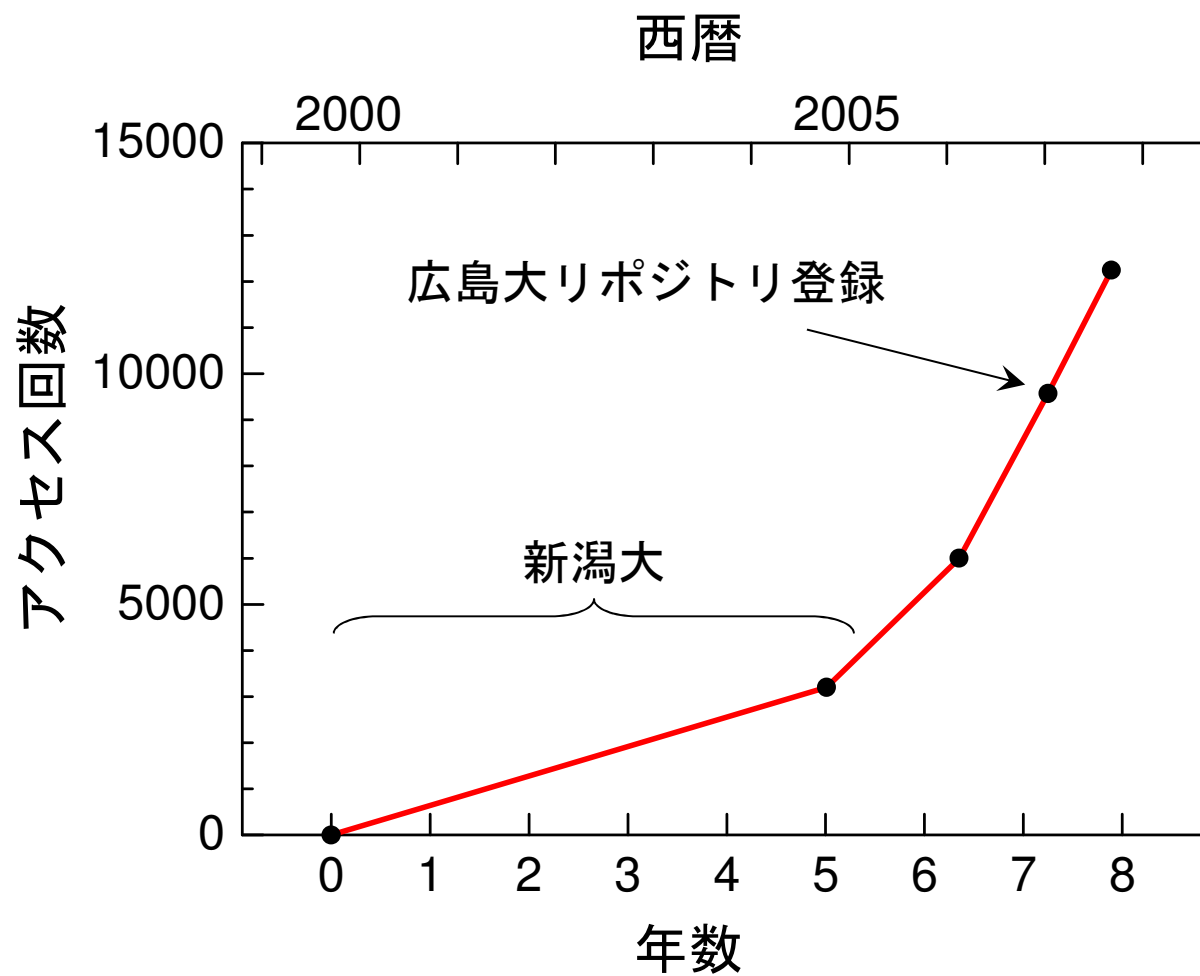
ありがとうございます。まずNo.8熟読してみます。



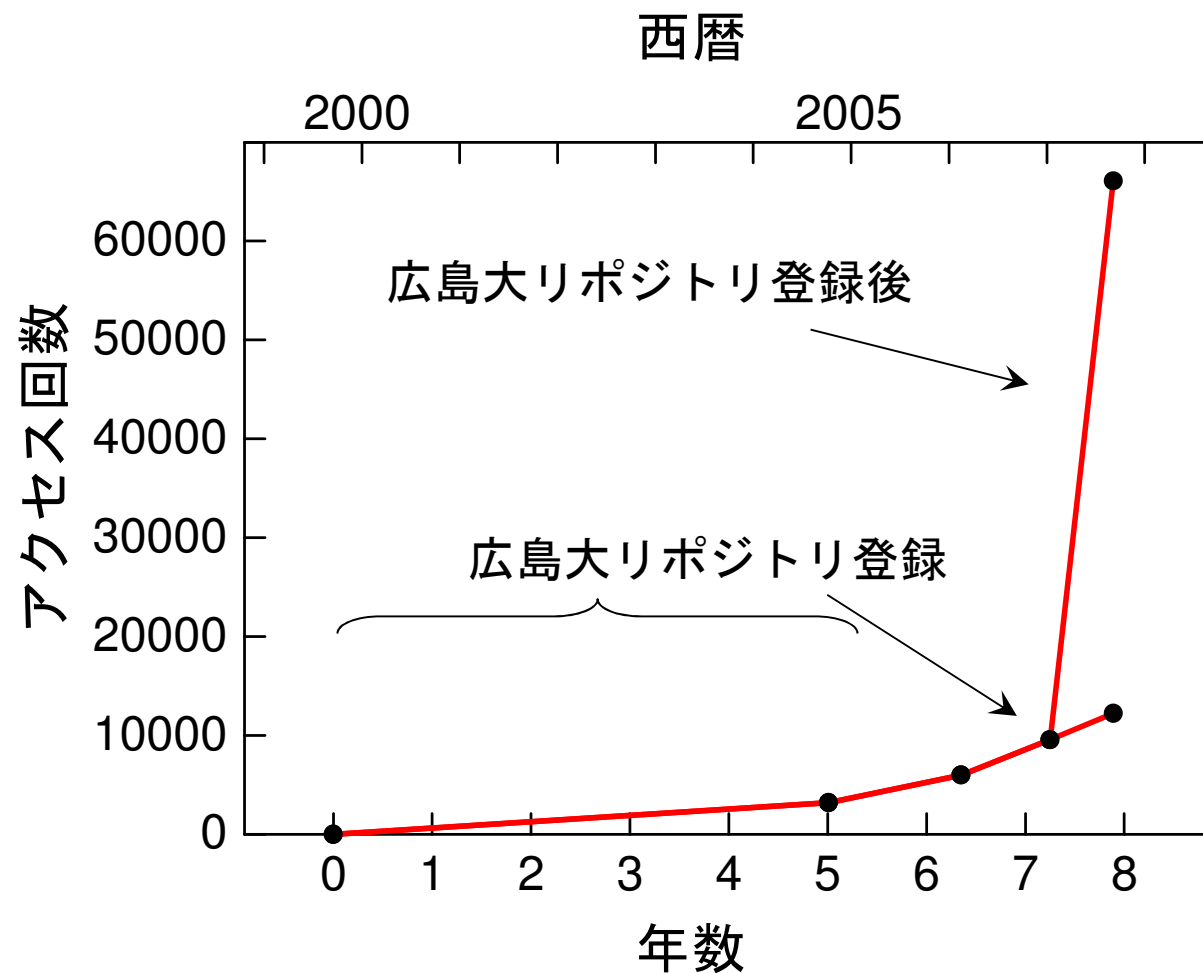
## 広島大学学術情報リポジトリ 累積アクセス回数

5. **統計熱力学における古典統計と量子統計の関係** / 山崎, 勝義 (3352)  
物理化学の教科書には, エンタルピー, エントロピー, Gibbs... [ [more](#) ]
6. **Clebsch-Gordan係数と射影演算子** / 山崎, 勝義 (3040)  
角運動量は, 非常に重要な物理量の一つであるが, 同時に難... [ [more](#) ]
7. **Coulomb相互作用による2電荷の運動** / 山崎, 勝義 (2799)  
2個の荷電粒子が, ある間隔に置かれて静止した状態からCo... [ [more](#) ]
8. **Jahn-Teller効果とRenner-Teller効果の統一理解** / 山崎, 勝義 (3171)  
Jahn-Teller(JT)効果とRenner-Teller(RT)効果は, 分子中... [ [more](#) ]
9. **Pauli原理とSlater行列式** / 山崎, 勝義 (3240)  
分子の電子状態の記述において, Pauliの原理を満足する固... [ [more](#) ]
10. **化学ポテンシャルと平衡定数** / 小口, 達夫 / 梶本, 興亜 / 山崎, 勝義 (6010)  
物理化学の教科書には, 熱力学の応用として化学平衡が必... [ [more](#) ]
11. **化学反応速度理論の徹底的理解: 微視的可逆性から遷移状態理論まで** / 山崎, 勝義 (3308)  
「微視的可逆性(microscopic reversibility)」と「詳細... [ [more](#) ]
12. **有効Lennard-Jonesポテンシャルの極値問題** / 山崎, 勝義 (3131)  
Lennard-Jones(L-J)ポテンシャルと遠心力ポテンシャルに... [ [more](#) ]
13. **熱力学第2法則と状態関数: 自発過程と最大仕事** / 山崎, 勝義 (3811)  
熱力学では, その第2法則の主役を演じる「エントロピー」... [ [more](#) ]

# 「yam@広島大」 monographサイト 累積アクセス回数



# 「Monographシリーズ」ファイル 累積アクセス回数



アクセス数の驚異的な増加

# 学術論文と解説書(単行書)

Search: 22 items found.

1. He\*(23S) Penning ionization of H<sub>2</sub>S. I. Theoretical Franck-Condon factors for the H<sub>2</sub>S( $\tilde{X}^1A_1, v' = 0$ )  $\rightarrow$  H<sub>2</sub>S+ ( $\tilde{X}^2B_1, \tilde{A}^2A_1$ ) ionization and H<sub>2</sub>S+ ( $\tilde{A}-\tilde{X}$ ) transition / Tokue, Ikuo / Yamasaki, Katsuyoshi / Nanbu, Shinkoh (11)  
...[[more](#)]
  2. He\*(23S) penning ionization of H<sub>2</sub>S. II. Formation of the SH+(A<sub>3</sub> $\Pi$ ) and H<sub>2</sub>S + ( $\tilde{A}^2A_1$ ) transition / Tokue, Ikuo / Yamasaki, Katsuyoshi / Nanbu, Shinkoh (10)  
...[[more](#)]
  3. Isotope effects in the dissociation of the  $\tilde{B}^1A_1$  state of SiH<sub>2</sub>, SiHD, and SiD<sub>2</sub> using time-dependent wave packet propagation / Tokue, Ikuo / Yamasaki, Katsuyoshi / Nanbu, Shinkoh (17)  
...[[more](#)]
  4. Vibrational energies for the  $\tilde{X}^1A_1$ ,  $\tilde{A}^1B_1$ , and  $\tilde{B}^1A_1$  states of SiH<sub>2</sub>/SiD<sub>2</sub> and related transition probabilities based on global potential energy surfaces / Tokue, Ikuo / Yamasaki, Katsuyoshi / Nanbu, Shinkoh (15)  
...[[more](#)]
- 
5. 統計熱力学における古典統計と量子統計の関係 / 山崎, 勝義 (3399)  
物理化学の教科書には、エンタルピー、エントロピー、Gibbs...[[more](#)]
  6. Clebsch-Gordan係数と射影演算子 / 山崎, 勝義 (3087)  
角運動量は、非常に重要な物理量の一つであるが、同時に難...[[more](#)]
  7. Coulomb相互作用による2電荷の運動 / 山崎, 勝義 (2845)  
2個の荷電粒子が、ある間隔に置かれて静止した状態からCo...[[more](#)]

学術論文

解説書  
(単行書)

1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
3. リポジトリ登録の効果
- 4. リポジトリコンテンツから出版へ**
5. リポジトリの拡充・普及戦略(案)

再び, 1通のメールで始まった・・・

2011.12.8 (11:17) 図書館 (濱氏) → 私

このたびは、広島大学で導入を検討しています、下記システムの業者によるデモのご案内です。

そこで、山崎先生のMonographシリーズを印刷・製本のデモンストレーションに使わせていただいております。

ご報告・ご案内が遅れまして申し訳ございませんが、ご興味がおありでしたら、是非ご覧下さいませ。

日時：12/8(木) 16:30～(17:15頃まで)

\* 1回のデモの所用時間は約15分程度

(本日、広島県大学図書館協議会の研修会の中で14:10～14:30頃にも同様のデモを行います。時間のずれがあるかも知れませんが、ご都合のよろしい方でお越し下さい。)

場所：中央図書館 1階 ライブラリーホール

内容：富士ゼロックス「電子書籍出版システム」

# EBM (Espresso Book Machine)



エスプレッソを1杯淹れる時間で本が1冊できる



EBM

Monographシリーズ

vol. 1

☞

広島大学理学研究科  
教授 山崎 勝義

EBMデモ用試作品

本になってる！



## 「yam@広島大」 Monographシリーズのポリシー

### ● 筆者の不理解を吐露

「理解すべきこと」を示すのではなく、「筆者の不理解の歴史」を白状して、筆者と読者とで疑問を共有

### ● 完全無料

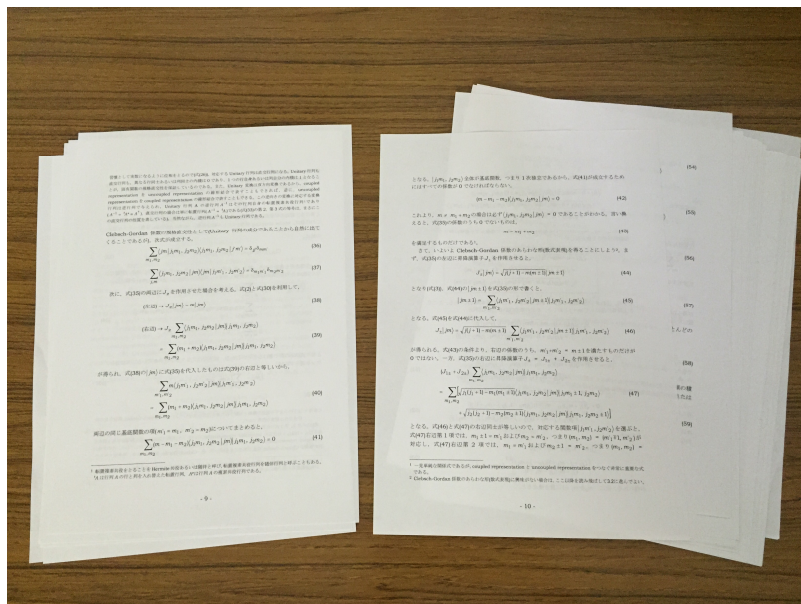
- ・ 「理解したい人」から金銭を要求しない
- ・ (大学の)教科書・専門書の高騰
- ・ 出版社を利用しない(書籍にしない)
- ・ 知識の獲得量や理解の深さが出資額に依存すべきでない

### ● ネットワーク配信

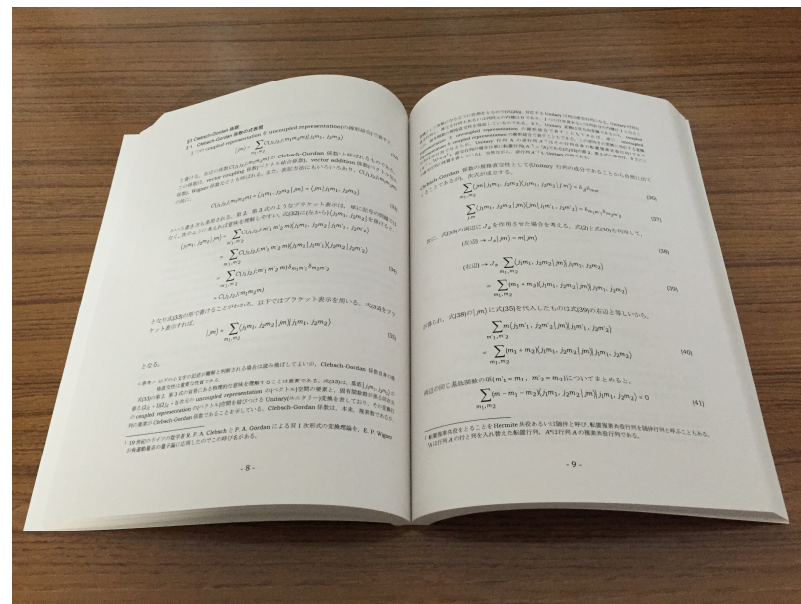
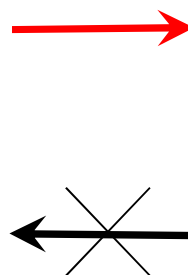
- ・ 書籍(冊子)ではなく、ネットワーク上でのPDF配布・随時更新
- ・ 最近の学生は、なんでも、まず、ネットワーク検索

本になってみると…

12タイトルが片手に載る！  
圧倒的に読みやすい！



A4判紙両面印刷



製本版

もう、A4判印刷には戻られない

## 2011.12.8 EBMデモ当日 副図書館長(甲斐氏)からの提案

- ・ 学術情報リポジトリにおいて注目コンテンツとして紹介されている「Monographシリーズ」をEMBにより製本し、広島大学だけでなく全国の大学および公共図書館の蔵書として貸し出しを可能にする。
- ・ 「Monographシリーズ」をEBMにより製本し、広島大学出版会から大学生協(および全国書店)で販売する。

製本！販売！

(考えたこともなかった)

# 学術機関として初のEBM導入

<http://current.ndl.go.jp/node/22340>

 検索

English / 日本語



CA-R CA-E CA 調査研究

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。

ホーム

## 広島大学図書館がEspresso Book Machineを国内学術機関として初導入、オンデマンド印刷・製本サービスを開始

Posted 2012年 11月 16日

広島大学図書館が、電子書籍出版システム(Espresso Book Machine: EBM)を用いたサービスを開始しました。

EBMは、PDFデータ等を短時間で印刷・製本できるシステムです。案内によると、このサービスは、広島大学の学生・教職員等が、教育研究や大学の諸活動といった目的で、教科書・教材・学位論文・報告集等を印刷・製本するためのものです。利用料金は、基本料400円と印刷料2円/頁の合計となっています。また、EBMで製本した書籍を、広島大学出版会の審査を経て、ISBNを付与して書店等で販売することもできるよう(この場合、著者の経費負担はないとされています)。

なお、EBMは、日本国内では他に三省堂書店が導入していますが、学術機関としては同館が初導入になるということです。

広島大学図書館電子書籍出版システム(広島大学図書館 2012/11/12付け情報)

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/ebm/index.html>

参考:

三省堂書店、2010年秋から店頭でのオンデマンド印刷・製本サービスを開始へ

<http://current.ndl.go.jp/node/16640>

カレントアウェアネス-R, 大学出版, 出版, 日本, 大学図書館

カレントアウェアネス・ポータルでは、2014年6月23日から9月26日まで利用者アンケートを実施しました。集計結果の概要を[こちら](#)に掲載しています。ご協力ありがとうございました！

### 東日本大震災 関連情報

[「災害」に関する当サイトの記事](#)

[調査研究レポート「東日本大震災と図書館」](#)

[国立国会図書館 東日本大震災復興支援ページ](#)

[地震・災害 関連情報\(レファレンス協同データベース\)](#)

[各地の図書館等の被災情報等について\(外部リンク\)](#)

[saveMLAK](#)

## カレントウェアネス-E No.229 (2012.12.28)

E1379

### 広島大学図書館におけるEspresso Book Machineの導入

“Espresso Book Machine”-この心地良い響きのフレーズを、本誌も収録されているカレントウェアネス・ポータルで検索すると、現在11件の記事がヒットする。少数ながら毎年のようにエポックな記事が紹介されている。ニューヨーク公共図書館(2007)、ミシガン大学図書館(2008)、ハーバード大学書籍販売部と英国ブラックウェル社(2009)、三省堂書店(2010)、フランス国立図書館(2011)、そして広島大学図書館(2012)と、このことばは関係機関に静かに広がっている。

また、広島大学は、図書館が事務を担当している大学出版会を有しており、そこでEBMIによるオンデマンド出版を計画している。出版会の審査で採択されれば、学位論文や教科書あるいは絶版図書等を、必要部数だけEBMで製造し、ISBNを付して書店等で広く有償販売することができる。必要経費は大学出版会が負担するため著者の負担はない。読者への販売価格には書店等の手数料が加算されるものの一般の図書よりも安価であり普及を図ることができる。オンデマンド出版であるため在庫レスとなり、大学出版会の健全な経営が期待できる。

機関リポジトリに登録された資料で、ダウンロード回数の多いコンテンツを、EBMIによって印刷体でも出版することを準備している。逆に、EBMでの印刷体作成を主眼としているコンテンツも、機関リポジトリへの登録へと誘導するようしている。

で電子的に作成している。しかしながら大学の学生・教職員による印刷体の教育・研究に大学の活動を支えるものとして、広大な利用はできない。

学生・教職員が創作する学位論文・教科書・学術書・報告書などは、多くは、現在では電子的に作成・利用されているが、通覧性が高く書き込みも容易な印刷体を必要・有効とする場合がある。例えば、学位論文は、審査効率を高めるうえで印刷体が有効な場合があり、学位が授与された後の印刷公表も求められる。現在国レベルで博士論文のインターネット公表が検討されているが、広島大学では、電子公表と併せて印刷公表も必要とする場合に、EBMを活用することを検討している。その他、印刷体の教科書に対する教員のニーズは少なくない。であれば、受講生が少数でも容易に必要部数を作成でき、学期ごとの追加・修正等の改訂も容易となる。

また、広島大学は、図書館が事務を担当している大学出版会を有しており、そこでEBMIによるオンデマンド出版を計画している。出版会の審査で採択されれば、学位論文や教科書あるいは絶版図書等を、必要部数だけEBMで製造し、ISBNを付して書店等で広く有償販売することができる。必要経費は大学出版会が負担するため著者の負担はない。読者への販売価格には書店等の手数料が加算されるものの一般の図書よりも安価であり普及を図ることができる。オンデマンド出版であるため在庫レスとなり、大学出版会の健全な経営が期待できる。

機関リポジトリに登録された資料で、ダウンロード回数の多いコンテンツを、EBMIによって印刷体でも出版することを準備している。逆に、EBMでの印刷体作成を主眼としているコンテンツも、機関リポジトリへの登録へと誘導するようしている。

2012.3.14 (16:01) 図書館 (萱野氏) → 私

昨年にデモを行いましたEBMの導入が決定しました。  
具体的に何をどうするかは未定の状態で、4月から運用するための準備をしつつ、利用者を探しています。

2012.3.21 (09:16) 私 → 図書館 (萱野氏)

私は、自分の著書を有料としないことをポリシーにしてきましたので、すべて無料で配布するために、下記の3つのサイト(略)で解説書(pdfファイル)を無料配布してきました。ただ、有料でも構わないから冊子体を所持したいという御意見をいただくことが多く、その要望に応えるために、**無料配布サイトを残した上で、(利益をのせず)実費のみで冊子版を販売する**という案には賛成です。

無料配付と同時に販売は可能？

2012.3.21 (9:16) 図書館 (萱野氏) → 私

ご提案の内容を実現すべく検討したく存じますので後日、改めてご連絡させていただきます。

2012.6.14 (16:24) 図書館 (濱氏) → 私

つきましては、山崎勝義先生のMonographシリーズの全タイトルを試作品ではなく、正式にEBMにて作成させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

もしよろしければ、おって副図書館長の甲斐より、作成の時期や具体的な手順(表示作成や通し番号のページ付け等)についてご相談させていただきたく存じます。

無料配付 + 販売が実現！

2012.6.15 (12:11) 副図書館長 (甲斐氏) → 私

1. 広島大学出版会からEBM版教科書を正式に発行するうえで、先生のMonographシリーズをモデルケースとして作成したい、ということです。
2. そのためには、以下の作業と先生のご了解が必要になりますので、ご意向について協議させていただきたいのです。
  - ・ 表紙デザイン
  - ・ 目次, まえがき, 索引, 奥付
  - ・ ISBN付与
  - ・ 「漁火書店」の名称使用
  - ・ 図版等の転載許諾申請
  - ・ 販売価格



## 出版までに必要な作業

- 表紙デザイン → 図書館 (三宅氏) → 業者発注
- 目次, まえがき, 索引, 奥付 → 自分
- ISBN付与 → 大学出版会
- 「漁火書店」の名称使用 → 図書館 (尾崎氏)
- 図版等の転載許諾申請 → 自分
- 販売価格 → 本部理事決裁

2～3か月でできる作業ではないな

## 「漁火書店」は使用可能？

元広島大学図書館 リポジトリアドバイザー 黒澤節男 先生より

著作権法14条は、次のように規定しています。

「(著作者の推定)

第14条 著作物の原作品に、又は著作物の公衆への提供若しくは提示の際に、その氏名若しくは名称(以下「実名」という。)又はその雅号、筆名、略称その他**実名に代えて用いられるもの**(以下「変名」という。)として**周知のものが著作者名として通常の方法により表示されている**者は、その著作物の著作者と推定する。」

従って、著作物に、著作者として名前を書いていけば、それは、著作者と推定されます。本名でもペンネームでも同じです。「推定」されますので、そうでないと主張する人がいれば、主張する人が、証拠を出さないといけないわけです。ということで、**奥付に著者名を書いておけば、全く問題無い**ですね。

「Monograph」シリーズおくづけ奥付

---

Clebsch-Gordan係数と射影演算子

---

2000年 10月 9日 初版第1刷  
2002年 10月 22日 第2版第4刷  
2004年 2月 24日 第3版第3刷  
2006年 9月 16日 第4版第4刷  
2007年 5月 20日 第5版第1刷

---

著者 山崎 勝義  
発行 漁火書店

検印 

---

印刷 ブルーコピー  
製本 ホッチキス

---

遊び心でやっていたことが有効だった

奥付完成！

---

広島大学出版会オンデマンド2  
物理化学 Monograph シリーズ (上)

---

第1版 第1刷 2013年 8月 5日 発行

著者 山崎勝義 (漁火書店) 検印



発行者 浅原利正

発行所 広島大学出版会  
東広島市鏡山1-2-2 (〒739-8512)  
電話 (082)424-6226  
E-mail : [press@hiroshima-u.ac.jp](mailto:press@hiroshima-u.ac.jp)

---

印刷・製本 広島大学図書館  
Espresso Book Machine (EBM)

---

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

ISBN978-4-903068-29-9 C3043

Printed in Japan

© Katsuyoshi Yamasaki 2013

## 図版等の転載許諾

被引用者，被転載社が引用，転載と考えれば著作権の行使となる。



- ・ 定量的な判断基準を示した規定はない。
- ・ ケース・バイ・ケースであり，原著者がどう考えるか(感じるか)で決まる。

法律はあるが適用は個別対応

(常に難しい問題)

## 92箇所引用・転載(改変)から20箇所について許諾申請

- 引用と転載は異なる。
- 海外出版社の日本法人は日本語訳本の図版転載許諾権をもっていない。
- 海外出版社は改変を許諾しない場合がある。  
「～を参考に作成」が使える。
- 出版社によっては費用請求がある。
- 著者が死亡している場合、家族(遺族)の許諾が必要。
- 許諾期間が設定されている場合がある。
- 原著が絶版になっていても許諾は必要。

約5か月かかって転載許諾完了！ (2013.5.27)

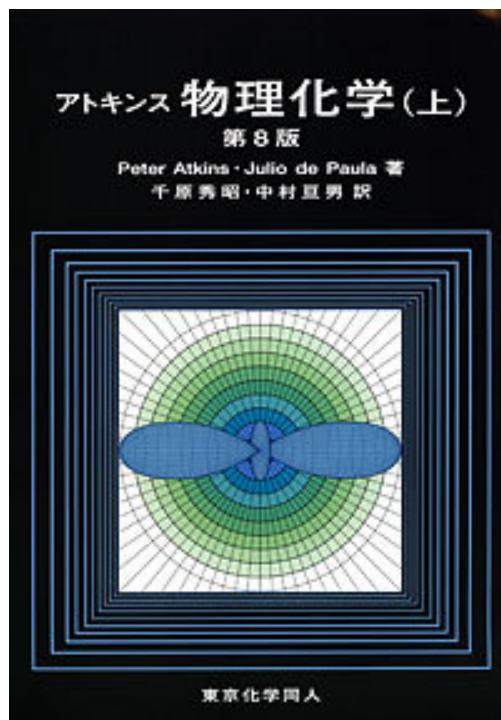
## 販売価格決定！

2013.7.9 (18:19) 図書館 (三宅氏) → 私

広島大学出版会から、EBMにて出版いただく「物理化学 Monographシリーズ」ですが、先ほど定価が決定いたしました。

上巻(400ページ)：1,700円，下巻(445ページ)：1,800円 (税抜)

とにかく安い！



← 548ページ，5,700円 (税抜)

## EBMにトラブル発生！

2013.4.30 (16:27) 図書館(三宅氏) → 私

EBMですが、本日午前11時くらいにデータ登録を開始しましたが、まだ登録終了まで至っておりません。

．．．

以前にテストサンプルで登録したときは、もっと短時間で登録出来ましたので、今回どうしてこんなに時間がかかっているか不明です。



PDF → ps → DistillerでPDFに変換

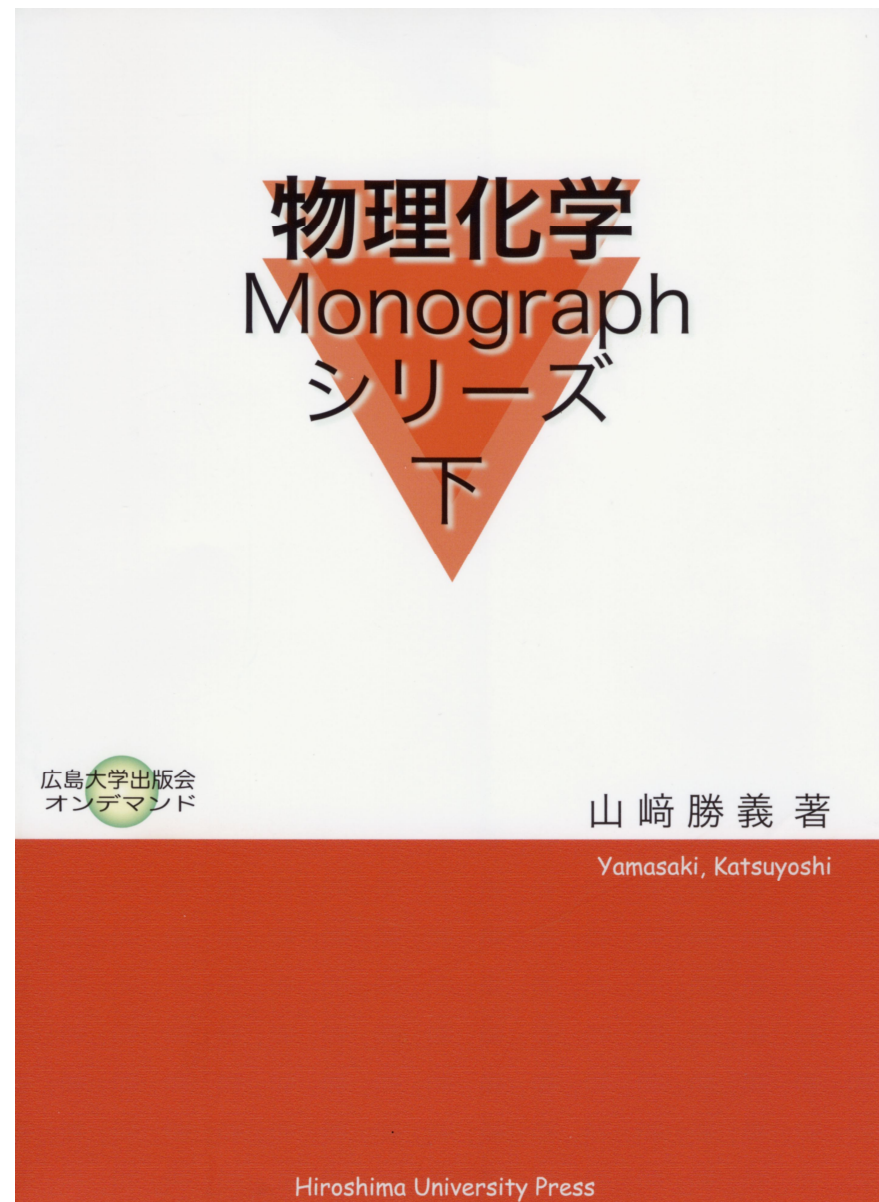
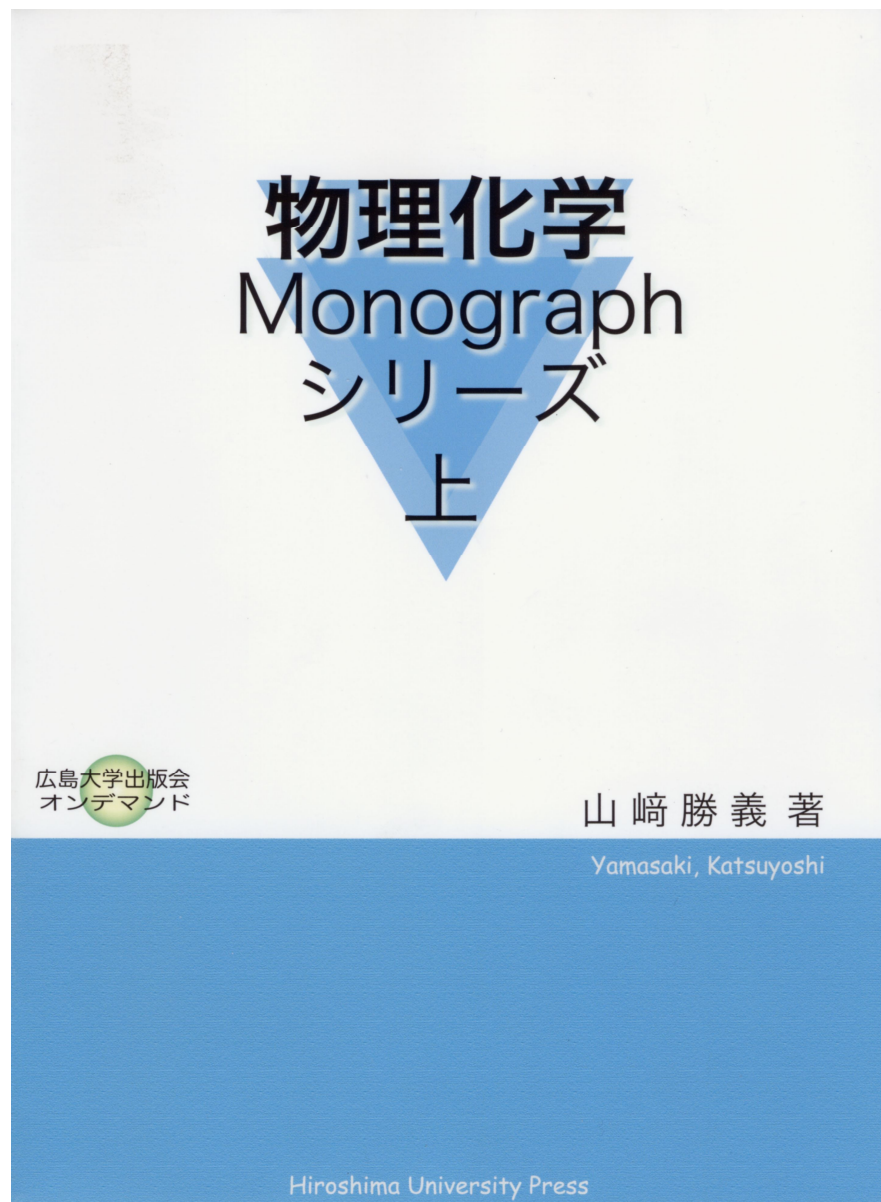
2013.5.1 (13:18) 図書館(三宅氏) → 私

午前中にいただいたPDFファイルの登録が出来ましたので、印刷・製本を行ないたいと思います。今回は、10分程度で登録出来たようです。

担当者と教員の連携プレー！



ついに出版！(2013.9.1)



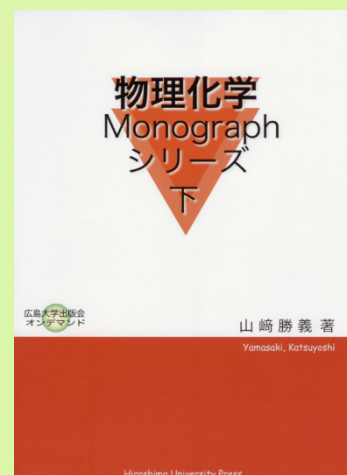
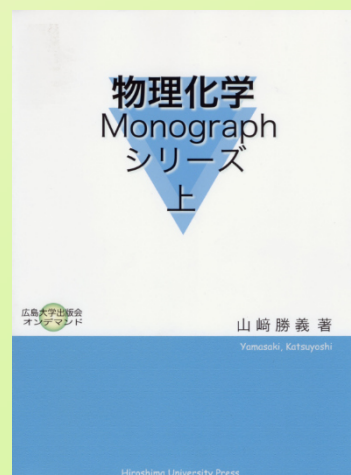
publish

# 物理化学Monographシリーズ(上・下)

山崎勝義 著

Monograph(=特定の限られた分野をテーマとする解説あるいは研究論文)の言葉どおり、物理化学の特定の事項についての疑問点を攻略するシリーズ。著者自身が抱いた疑問や誤解の経験を示し、解決目標を明確にした上で、著者がどのような“武器”を用いてどのように疑問を“攻略”したかという“体験談”を記した解説書。

広島大学学術情報リポジトリにて無料公開され、高いアクセス数を誇っている電子書籍版の冊子体頒布を望む声に応え、広島大学出版会オンデマンドにより上巻・下巻同時刊行。



## <上巻>

収納タイトル

1. 電磁気学における単位系
2. 「成分」と「基底」の変換の相違点
3. 物体の速度と物質波の速度
4. 磁気モーメントとg値
5. 歳差運動の物理学
6. ClebschGordan係数と射影演算子
7. 化学反応速度理論の基本仮定
8. 遷移状態理論の基本仮定
9. 熱力学第2法則と状態関数
10. 発光分光スペクトルによる振動緩和速度定数決定法
11. 発光スペクトル強度と励起分子数の関係
12. Coulomb相互作用による2電荷の運動

ソフトカバー、400ページ  
ISBN: 978-4-9030-6829-9  
価格: 1,785円(税込)

お近くの書店またはAmazonでお求めください。

## <下巻>

収納タイトル

13. Pauli原理とSlater行列式
14. 衝突頻度と平均自由行程
15. 有効LennardJonesポテンシャルの極致問題
16. JahnTeller効果とRennerTeller効果の統一理解
17. 化学ポテンシャルと平衡定数
18. 統計熱力学における古典統計と量子統計の関係
19. 対称性低下法による電子状態のterm決定法
20. WignerWitmer相関則の導出
21. 球対称点群の直積と対称積・反対称積
22. 核交換操作と核スピン統計
23. BornOppenheimer近似と断熱近似
24. 量子論におけるブラ・ケット表記

ソフトカバー、450ページ  
ISBN: 978-4-9030-6830-5  
価格: 1,890円(税込)

広島大学出版会  
〒739-8512 東広島市鏡山1丁目2番2号  
TEL(082)424-6226 / FAX(082)424-6211  
E-mail: press@hiroshima-u.ac.jp  
[http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page\\_id=303](http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=303)

# Amazonでも販売

amazon.co.jp    マイストア    Amazonポイント    ギフト券    タイムセール    出品サービス    ヘルプ

カテゴリーからさがす    すべて    monographシリーズ    検索    こんにちは。サインイン アカウントサービス

カテゴリー  
本

配送オプション (詳細)  
 国内配送料無料

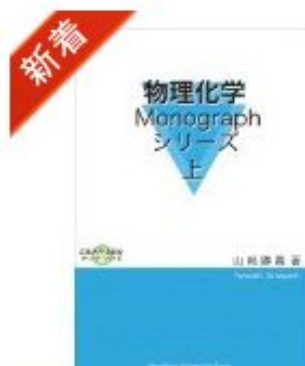
アサヒ飲料  
新商品フェア!

対象商品  
最大 **40% OFF**

配送料無料

## "monographシリーズ"

検索結果28件中1件から24件までを表示



物理化学Monographシリーズ上山  
崎 勝義 (2013/8/5)

¥ 1,785 単行本(ソフトカバー) **プライム**

22時間以内にご注文いただくと、2013/9/11 水曜日までにお届けします。

1点在庫あり。ご注文はお早めに。

通常配送無料

本: 全28商品を見る



物理化学Monographシリーズ下山  
崎 勝義 (2013/8/5)

¥ 1,890 単行本(ソフトカバー) **プライム**

22時間以内にご注文いただくと、2013/9/11 水曜日までにお届けします。

1点在庫あり。ご注文はお早めに。

通常配送無料

本: 全28商品を見る

## Twitter

山口祥一 氏 (理化学研究所)

@shoichi\_yama: 池袋のジュンク堂の7階に「面陳列」されているところを、妻に撮ってきてもらいました。



1. 広島大学学術情報リポジトリへの登録
2. 「Monographシリーズ」のポリシー
3. リポジトリ登録の効果
4. リポジトリコンテンツから出版へ
5. リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

## リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

1. 収容コンテンツ総数よりも関心を惹く工夫
2. 大学(機関)オリジナルの単行書の収蔵・配付
3. 旧版書籍のアーカイブ保存
4. 著作権に関する完全安心窓口
5. 協力教員の発掘

# ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)

<http://www.arg.ne.jp/>



[バックナンバー](#)

[イベントカレンダー](#)

[レビュー](#)

[開催イベント](#)

[編集日誌](#)

[パートナーノート](#)

ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG) は、1998年に創刊されたインターネットの学術利用をテーマにしたメールマガジンです。

## バックナンバー

- [553号 \(2015-09-08, 4590部\)](#) - 2015-09-08
- [552号 \(2015-09-02, 4585部\)](#) - 2015-09-02
- [551号 \(2015-08-25, 4583部\)](#) - 2015-08-25
- [550号 \(2015-08-17, 4591部\)](#) - 2015-08-17
- [549号 \(2015-08-10, 4591部\)](#) - 2015-08-10
- [548号 \(2015-08-04, 4599部\)](#) - 2015-08-04
- [547号 \(2015-07-27, 4602部\)](#) - 2015-07-27
- [546号 \(2015-07-20, 4606部\)](#) - 2015-07-21
- [545号 \(2015-07-14, 4611部\)](#) - 2015-07-14
- [544号 \(2015-07-06, 4613部\)](#) - 2015-07-06

[1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) ... [次>](#) [最終>>](#)

[もっと見る](#)

[バックナンバーのRSS](#)

## イベントカレンダー

2015/09/08(火) 更新

## メニュー

- [このサイトについて\(会社概要\)](#)
- [メールマガジンの登録・解除](#)
- [編集人一覧](#)
- [お問い合わせ](#)


## イベントカレンダー

今日 [◀](#) [▶](#) 9月 9日 (水曜日) ▼

9月 9日 (水曜日)		▲
09:00	2015年 電子情報通信学会 ソサイ	≡
9月 10日 (木曜日)		
09:00	2015年 電子情報通信学会 ソサイ	
9月 11日 (金曜日)		
09:00	2015年 電子情報通信学会 ソサイ	
13:00	関西文化学術研究都市8大学連	
17:30	2015年 社会情報学会(SSI)学会	
18:00	専門図書館協議会 イブニングセミ	
9月 12日 (土曜日)		

# ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)

2006-10-08 (Sun)

□ [新着・新発見リソース][機関リポジトリ][広島大学図書館]広島大学図書館、  
広島大学学術情報リポジトリ(HIR)を正式公開 

広島大学図書館が広島大学学術情報リポジトリ(HIR)を正式公開した(2006-10-06)。広島大学学術情報リポジトリ(HIR)は2006年4月12日に試験公開され、以来半年が経過したが、安定的な稼働が確認できたため今回正式公開に至ったという。現時点でのコンテンツ数は論文等1674件、コレクション類5596件で、試験公開中の半年間で約12万件のアクセス数があったという。また今回の正式公開にあわせて、広島大学学術情報リポジトリ(HIR)マークが制定されている。

すでに多数の機関リポジトリが公開されているが、広島大学学術情報リポジトリ(HIR)はつくって終わりではなく、プロモーションに力を入れていることがよくわかる。今回のロゴの制定もプロモーション強化の一環といえるだろう。他にも一人の研究者が執筆した論文をまとめて紹介する「HIR注目コンテンツ」(Monographシリーズ)を公開していることや、「学術雑誌論文が500件に到達しました。」(2006-10-04)というニュースに際して、

500件めの登録コンテンツは、松本眞先生(理学研究科)のご論文でした。

という一文を差し込んで、当該論文にリンクしていることに、地道な努力がうかがえる。システムを構築することや、研究成果を取めること以外に、取められた



## ACADEMIC RESOURCE GUIDE記事(2006-10-08)

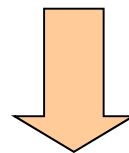
- すでに多数の機関リポジトリが公開されているが、広島大学学術情報リポジトリ(HIR)は**つくって終わりではなく、プロモーションに力を入れている**ことがよくわかる。
- 今回の**ロゴの制定**もプロモーション強化の一環といえるだろう。
- 他にも**一人の研究者が執筆した論文をまとめて紹介する「HIR注目コンテンツ」(Monographシリーズ)を公開**していることや、「学術雑誌論文が500件に到達しました。」(2006-10-04)というニュースに際して、  
「500件めの登録コンテンツは、松本眞先生(理学研究科)のご論文でした。」  
という一文を差し込んで、当該論文にリンクしていることに、**地道な努力**がうかがえる。
- システムを構築することや、研究成果を収めること以上に、**収められた研究成果が利用されるようにすることが、機関リポジトリの本質である**ことを気づかせてくれる。
- 機関リポジトリをすでに運用している大学図書館、**これから構築しようという大学図書館には、ぜひ広島大学学術情報リポジトリ(HIR)に学んでほしい。**

## リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

1. 収容コンテンツ総数よりも関心を惹く工夫
2. 大学(機関)オリジナルの単行書の収蔵・配付
3. 旧版書籍のアーカイブ保存
4. 著作権に関する完全安心窓口
5. 協力教員の発掘

## リポジトリの拡充・認知・普及への“戦略”と期待

- リポジトリの最大の武器 = “**すべて無料!**”
  - ・ いかなる学会も出版社も自社本を“無料”で配布することは(まず)不可能
  - ・ すべての「理解への欲求」に対する無償支援
- 電子媒体の特徴と一般販売冊子に対する優位性
  - ・ 更新が容易かつ高速
  - ・ 絶版にならない



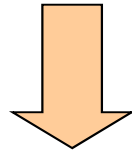
**学習に役立つ**, 大学オリジナルの**単行書**の収集と配信

## リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

1. 収容コンテンツ総数よりも関心を惹く工夫
2. 大学(機関)オリジナルの単行書の収蔵・配付
3. 旧版書籍のアーカイブ保存
4. 著作権に関する完全安心窓口
5. 協力教員の発掘

# 旧版書籍のアーカイブ化(PDF保存)

書籍は改訂で良くなるとは限らない



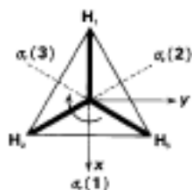
旧版の書物に価値がないわけではない

# 中崎昌雄「分子の対称性と群論」(東京化学同人)

## 第1版第5刷(1978年)

3-7  $C_{3v}$ 点群についての可約表現と既約表現 55

ぎのようにできる。 $C_3$ 回転操作などはすでに見たベクトルの回転のときに出てきた行列で $\theta=120^\circ$ として計算すればよい。



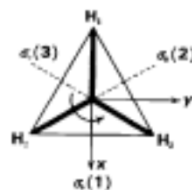
そして、 $C_3$ 回転は  $z$  軸を回転軸とするから  $z$  成分はそのままである。図のように右回りとして  $C_3$  回転操作の結果は：

$$\begin{aligned} C_3(z) &= (1)z + (0)p_x + (0)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_x) &= (0)z + \left(-\frac{1}{2}\right)p_x + \left(-\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_y) &= (0)z + \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_x + \left(-\frac{1}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_z) &= (0)z + (0)p_x + (0)p_y + (1)p_z \end{aligned}$$

## 第1版第7刷(1981年)

3-7  $C_{3v}$ 点群についての可約表現と既約表現 55

ぎのようにできる。 $C_3$ 回転操作などはすでに見たベクトルの回転のときに出てきた行列で $\theta=120^\circ$ として計算すればよい。



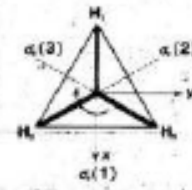
そして、 $C_3$ 回転は  $z$  軸を回転軸とするから  $z$  成分はそのままである。図のように左回りとして  $C_3$  回転操作の結果は：

$$\begin{aligned} C_3(z) &= (1)z + (0)p_x + (0)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_x) &= (0)z + \left(-\frac{1}{2}\right)p_x + \left(-\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_y) &= (0)z + \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_x + \left(-\frac{1}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_z) &= (0)z + (0)p_x + (0)p_y + (1)p_z \end{aligned}$$

## 第1版第6刷(1980年)

3-7  $C_{3v}$ 点群についての可約表現と既約表現 55

ぎのようにできる。 $C_3$ 回転操作などはすでに見たベクトルの回転のときに出てきた行列で $\theta=120^\circ$ として計算すればよい。



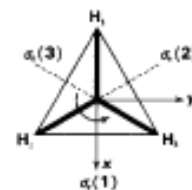
そして、 $C_3$ 回転は  $z$  軸を回転軸とするから  $z$  成分はそのままである。図のように右回りとして  $C_3$  回転操作の結果は：

$$\begin{aligned} C_3(z) &= (1)z + (0)p_x + (0)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_x) &= (0)z + \left(-\frac{1}{2}\right)p_x + \left(-\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_y) &= (0)z + \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_x + \left(-\frac{1}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_z) &= (0)z + (0)p_x + (0)p_y + (1)p_z \end{aligned}$$

## 第1版第8刷(1983年)

3-7  $C_{3v}$ 点群についての可約表現と既約表現 55

ぎのようにできる。 $C_3$ 回転操作などはすでに見たベクトルの回転のときに出てきた行列で $\theta=120^\circ$ として計算すればよい。



そして、 $C_3$ 回転は  $z$  軸を回転軸とするから  $z$  成分はそのままである。図のように左回りとして  $C_3$  回転操作の結果は：

$$\begin{aligned} C_3(z) &= (1)z + (0)p_x + (0)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_x) &= (0)z + \left(-\frac{1}{2}\right)p_x + \left(-\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_y) &= (0)z + \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)p_x + \left(-\frac{1}{2}\right)p_y + (0)p_z \\ C_3(p_z) &= (0)z + (0)p_x + (0)p_y + (1)p_z \end{aligned}$$

# 物理化学Monographシリーズ

## #2 「成分と基底の変換の相違点」 pp.33~34

上記の事情に加えて文献1がさらなる混乱を招くのは、同書第6刷<sup>2</sup>までは右まわり回転と  
していた p. 55の操作が、第7刷<sup>3</sup>では左まわり回転に変更されている点である。同書は、p.  
55の記述からわかるように、成分にも基底にも列ベクトル表記を採用しているので、ベク  
トル(成分)の120°左まわり回転を表す変換行列と、基底を120°右まわり回転を表す変換行列  
が同じものになるのは(誤解を招きやすいという事情はあるとしても)誤りではない。しかし、  
基底の回転方向だけを変更して行列表記に変更を加えなかったために、変更前には(基底に  
も列ベクトル表記を用いている意味で)consistent であった記述に矛盾が生じている。たと

---

1 これは、筆者が学生時代に陥った誤解である(このように誤解したのは筆者だけかもしれない)。

2 たとえば、筆者所有の第1版第5刷(1978年7月11日発行)。

3 各刷の出版年は、第1刷：1973年、第3刷：1976年、第5刷：1978年、第6刷：1980年、第7刷：1981年、  
第8刷：1983年である(版はすべて第1版)。

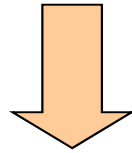
4 たとえば、摂動系の固有関数  $\Psi_i$  を無摂動系の固有関数群  $\{\phi_i\}$  の線形結合で表すことに対応する。

### ちゃんとフォロー

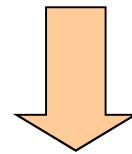
1 筆者に、各書の記述や展開を批判・非難する意図は毛頭ありません。各書の表記の紹介は、読者の方々が成書  
に目を通されるとき参考資料と考えていただければ幸いです。特に、中崎昌雄 先生には、群論を勉強するた  
めの良書「分子の対称と群論」を著していただいたことに深く感謝いたしております。同書は、群論を初めて  
学習する(化学系の)人にとって絶好かつ必携の本であると思います。なお、各文献に関する記述の中で「同書」  
は文献を指し、「本書」は本 monograph を指します。

# 旧版書籍のアーカイブ化(PDF保存)

書籍は改訂で良くなるとは限らない



旧版の書物に価値がないわけではない



**旧版のPDF保存**  
(完全公開でなくても入手可能に)

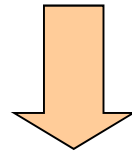


## リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

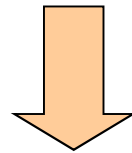
1. 収容コンテンツ総数よりも関心を惹く工夫
2. 大学(機関)オリジナルの単行書の収蔵・配付
3. 旧版書籍のアーカイブ保存
4. 著作権に関する完全に安心な窓口
5. 協力教員の発掘

## 博士学位論文の登録

# 最大の難関＝著作権問題



- 発表(掲載)論文と同じ内容の博士学位論文をリポジトリで掲載してもいいのか？
- 発表論文に掲載した図と同じ図を含んでいる博士学位論文をリポジトリで掲載してもいいのか？



**DRF**(Digital Repository Federation)でも猛烈な議論と膨大な事例

# DRF(Digital Repository Federation)



## Digital Repository Federation

### 月刊DRF

Top / 月刊DRF

[ List of pages | Search | Recent changes | Help ]

#### DRFについて

- » DRFについて
- » 参加機関
- » メーリングリスト
- » 第3期活動課題
- » 月刊DRF
- » 国際連携
- » 研修
- » DRF in English

#### イベント情報

- » これからのイベント
- » 終了したイベント
- » 関連イベント
- » List of Events
- » OA Week 2014

#### リポジトリをつくる

- » リポジトリをつくる
- » 各機関運用指針一覧
- » リポジトリシステムを試す
- » 事例報告集

#### リポジトリを育てる

- » リポジトリを育てる
- » 実務のための関連資料
- » 技術関連情報
- » 運用議論あれこれ

#### さらに深く知る

- » もっと知りたいリポジトリ
- » DRFPedia(用語集)
- » 関連資料集

### 月刊DRF 学術情報流通の現在と未来をかんがえる雑誌です。†

リポジトリの今がわかる

月刊DRF = Digital Repository Federation Monthly - No.1 (2010.2)- - 札幌 : デジタルリポジトリ連合



日本語 | English

#### 月刊DRF読者アンケート †

こちらからお答えください : [http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf\\_inq.html](http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf_inq.html)

#### ▶ 2015年9月号 No. 68 September, 2015 †



- PDF
- 【特集】知っておきたい！博士論文と連携サービスのしくみ
- 【レポート】平成27年度機関リポジトリ新任担当者研修
- 【予告】イベント案内
- 【連載】今そこにあるオープンアクセス

#### ▶ 2015年8月号 No. 67 August, 2015 †



- PDF
- 【特集】全国進捗資料リポジトリから全国進捗報告総覧へ
- オープンアクセスウィーク2015素材募集！
- 【連載】かたつむりとオープンアクセスの日常
- 【レポート】JALC 研究データへのDOI登録実験プロジェクト中間報告会

# DRF(Digital Repository Federation)メーリングリスト

Date: Thu, 18 Apr 2013 13:38:39 +0900 (JST)

〇〇さん

> おっしゃっておられること、理解できます。が、実際問題、どのように対応するのかと考えるとそう簡単に話は進まないように思うのです。

そうだろうと思いますが、べつに「簡単に話を進」める必要はないのです。とくに土出さんもこの直前の投稿でたびたび指摘されていたとおり、公表の義務を負うのは学位取得者であり、協力を求められているのは、学位授与機関であるので、その当事者がどう考えるかがなにより大事であり、図書館は、学術情報の普及、流通の促進という観点から支援、助言するという立場だからです。図書館が何かしようと思ってはいけません。しかしもちろん、当事者が、無知ゆえに誤った判断をしようとするときには、専門家の立場から適切な介入をすることが求められているのだと思います。

> 研究分野によっては、「画像の解析」自体が研究目的という場合もありますので、公表できない内容をメインにせざるを得ない論文も存在します。そのような場合、「研究内容を選んだのは学位取得者や学位授与機関の責任だから、公開できないのは仕方ない」というのは、研究者の方にはお伝えしにくいです。

画像解析の対象は、たんなる数値列なので、問題は生じるはずもありませんが。かつ、ここで「お伝えしにくい」という気持ちがわかりません。本人に責任があるときに、本人の責任であることをお伝えするのは専門家としての義務だと思います。

> 研究者の方は、画像提供者にお願いをして公開している訳で、画像提供者が「そんなにややこしいことを言うのなら、画像の提供はしない」となってしまうと研究自体に支障が生じますよね。なので、画像提供者に無理を言う訳にはいかず、結局、不完全な要約をあげるしかないということになると思います。

それはわかりません。研究目的の提供はそうとうケチな人でもやってくれます。ともかく理由はなんであれば、公表できないならば、やむを得ず公表できないのですから、公表しないだけのこと、別に気にすることはありません。要約は、(画像を含めた)全文でないからという意味で不完全であるということであれば、たしかに不完全ですが、それでも学位は取得され、その根拠である学位論文の内容は公表されているので、(芸術作品が学位授与条件の一部を構成するような場合は別にして)まったく誰も困りません。

> なので、選択肢としては、それしかないのですが、結局、研究者が意図していないにもかかわらず、NDLでは公開できない博士論文が存在してしまうというのが残念です。NDL側の技術的な問題については、理解できますし、パスワードやセキュリティをかけた論文を収集することは、実際問題難しいのだろうと思います。そして、オープンアクセスの観点から言うと、「NDLだろうが、リポジトリだろうが、どちらでも同じ。」なのでしょうが、例えば、利用者がNDLでは、全ての博士論文を収集していると思って、NDLのサイトにアクセスしたら、なくて残念・・・という結果にはならないでしょうか？リポジトリへのリンクもつけるというのも手かもしれませんが、基本的には同じものが載っている原則のはずです。そういう意味で、残念です。

この気持ちはまったく理解不可能です。NDLのサービス対象は、国会議員と一般国民です。この人々の多くは学術的情報には、恒常的には関心を持ちません。それに対して、大学図書館を中心とする学術図書館は、研究者、学生をサービス対象とすることから、学術的情報の生産と流通に関心を持ち、その向上を促進する役割を担っています。したがって、大学図書館がちゃんと仕事をすればいいだけの話で、NDLは、けっきょくは保存のlast resortであるにすぎません。

## 著作権の問題

広島大学学術情報リポジトリにあなたの著作物を登録することは、その著作物の著作権に何も影響を与えません。著作権はもとの著作権者がそのまま保持しています。広島大学学術情報リポジトリは、リポジトリへの登録のプロセスを通じて広島大学の知的生産物を集積し、引用率の向上といった著者のメリットを強化していきたいと思っています。

広島大学学術情報リポジトリは、著作権が著者あるいは出版社のどちらにあっても、登録された著作物の著作権者の権利を尊重します。リポジトリに著作物を登録することは、著者が広島大学にその著作物をリポジトリに電子複製し、リポジトリを通じて配布する限定的な非独占使用権を与えることとなります。そのため、その著作物を広島学術情報リポジトリ以外で使用するための許諾は必要ありません。

# 著作権の問題

## 著作権者と著作物を登録する権利の問題について

---

広島大学学術情報リポジトリに登録してあるいくつかの著作物は出版されていないため、著作権者は出版に関する著作権について考慮する必要はありません。しかし、リポジトリに登録されている多くの著作物はすでに出版されていますので、出版された著作物の著作権について明らかにしておく必要があります。ここでは主に雑誌論文の著作権について説明をします。

### 論文がすでに出版されている場合

広島大学学術情報リポジトリに登録しようと思っている論文がすでに出版されている場合、誰が著作権を保持しているのかを明らかにする必要があります。もし、出版社に著作権が譲渡されていれば、広島大学学術情報リポジトリに著作物を登録するためには出版社の許諾が必要になります。多くの出版社はプレプリントやすでに出版された論文を機関リポジトリから公開することを認めています。しかし、このような論文の公開に対する出版社の方針は様々ですので、登録しようと思っている論文の許諾状況を確認することが必要です。

海外の出版社・学会の許諾状況はSHERPA/RoMEOのサイト <http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php>で、国内の学会はSCPJのサイト <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>で確認することができます。これらのサイトでは著作権の保有者と出版社や学会のリポジトリの登録方針の概要を確認できます。許諾状況が不明な場合は、広島大学図書館が著者に代わって許諾状況を調査いたします。

## Search - Publisher copyright policies & self-archiving

[English](#) | [Español](#) | [Magyar](#) | [Nederlands](#) | [Português](#)

One journal found when searched for: **chem phys lett**

<b>Journal:</b>	<a href="#">Chemical Physics Letters</a> (ISSN: 0009-2614)
<b>RoMEO:</b>	This is a <a href="#">RoMEO green</a> journal
<b>Paid OA:</b>	A paid open access option is <b>available</b> for this journal.
<b>Author's Pre-print:</b>	✓ author can archive pre-print (ie pre-refereeing)
<b>Author's Post-print:</b>	✓ author can archive post-print (ie final draft post-refereeing)
<b>Publisher's Version/PDF:</b>	✗ author cannot archive publisher's version/PDF
<b>General Conditions:</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Authors pre-print on any website, including arXiv and RePEC</li> <li>• Author's post-print on author's personal website immediately</li> <li>• Author's post-print on open access repository after an embargo period of between 12 months and 48 months</li> <li>• Permitted deposit due to Funding Body, Institutional and Governmental policy or mandate, may be required to comply with embargo periods of 12 months to 48 months</li> <li>• Author's post-print may be used to update arXiv and RepEC</li> <li>• Publisher's version/PDF cannot be used</li> <li>• Must link to publisher version with DOI</li> <li>• Author's post-print must be released with a Creative Commons Attribution Non-Commercial No Derivatives License</li> </ul>
<b>Mandated OA:</b>	(Awaiting information)
<b>Paid Open Access:</b>	<a href="#">Open Access</a>
<b>Notes:</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Publisher last reviewed on 03/06/2015</li> </ul>
<b>Copyright:</b>	<a href="#">Unleashing the power of academic sharing - Sharing Policy</a> - <a href="#">Sharing and Hosting Policy FAQ</a> - <a href="#">Green open access</a> - <a href="#">Journal Embargo Period List (pdf)</a> - <a href="#">Journal Embargo List for UK Authors, Attaching a User License (pdf)</a> - <a href="#">Funding Body Agreements</a>
<b>Updated:</b>	01-May-2015 - <a href="#">Suggest an update for this record</a>
<b>Link to this page:</b>	<a href="http://www.sherpa.ac.uk/romeo/issn/0009-2614/">http://www.sherpa.ac.uk/romeo/issn/0009-2614/</a>
<b>Published by:</b>	<a href="#">Elsevier</a> - <a href="#">Green Policies in RoMEO</a>

This summary is for the journal's *default* policies, and changes or exceptions can often be negotiated by authors.  
*All information is correct to the best of our knowledge but should not be relied upon for legal advice.*

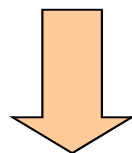
## リポジトリの拡充・普及戦略 (案)

1. 収容コンテンツ総数よりも関心を惹く工夫
2. 大学(機関)オリジナルの単行書の収蔵・配付
3. 旧版書籍のアーカイブ保存
4. 著作権に関する完全安心窓口
5. 教員の理解深化と協力的教員の発掘

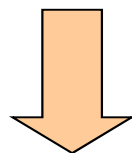


## 教員への説明

ルールをWeb上に掲載しておく  
では不十分



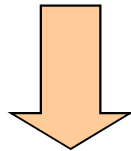
- ・ どこに行けばわかるか
  - ・ 誰に尋ねればわかるか
- を明確に伝える



「不明な場合は図書館が調査します」  
が重要

## カタカナ専門用語の翻訳

電子アーカイブシステムの相互運用の議論に基づくものであり、これはオープン・アーカイブス・イニシアチブ（OAI）とその「メタデータ収集のためのOAIプロトコル」（OAI-PMH）の活動、さらには、世界規模の分野特化型プレプリント・サーバの出現からオープン・アクセス思潮へと至る流れが背景となっている。



- ・ 教員は自分の専門分野以外の専門用語は素人
- ・ PCやネットワークに不案内な教員は少なくない
- ・ 教員は研究以外のことに時間を使うことを嫌う
- ・ 教員は同じことを何度も入力することを嫌う

2015.9.2 (19:12) 図書館 (尾崎氏) → 私

## エディオンスタジアムへのお誘い

山崎先生(Cc: 上田さん 松本さん)

来週の研修会ではお世話になります。  
研修会とは別件ですが、サンフレッチェ地元戦へのお誘いです。

10月17日(土) 川崎フロンターレ戦  
(14:00キックオフ)

に行きたいと思っているのですが、ご一緒いただけませんかでしょうか。

昼間：サッカー → 夜：反省会（横川周辺？）

と考えると、10月17日がベストなのですが、ご都合いかがでしょうか？

※上田さん、松本さんと、あと何人か図書館からも誘おうかと思えます。

信用・信頼・チームワーク

# お世話になった方々

富永 図書館長(当時)



尾崎様



三宅様



librarian

松本様



# 「物理化学Monographシリーズ」 まえがき

ズの基本ポリシーを御理解いただき、出版にともなう利潤は生じない価格設定<sup>1</sup>での冊子体の頒布が実現しました。

フリーウェアやオープンソースという発想が PC やネットワークの世界を大きく発展させてきたことと同様に、学術図書の世界においても、フリーの電子書籍が多く読者の理解を支える時代が到来することを信じて、今後も本シリーズの執筆および web 上での無料配布を継続します。

本シリーズによって、読者の物理化学の理解が少しでも深まることがあれば望外の喜びであり、本シリーズの使命は達成したといえます。なお、本シリーズの全タイトルを精読し貴重なアイデアや御助言をいただいた豊橋技術科学大学 小口達夫 氏<sup>2</sup>、タイトル「17」について御助言をいただいた京都大学名誉教授 梶本興亜 氏、冊子体の企画段階から出版まで御尽力いただいた広島大学図書館 富永一登 氏および甲斐重武 氏、「Monograph シリーズ」の名称<sup>3</sup>を提案いただいた広島大学図書館 尾崎文代 氏および上田大輔 氏、広島大学学術情報リポジトリでの本シリーズ配布を管理いただいた広島大学図書館 濱 知美 氏、表紙デザインの製作および製本作業に御協力いただいた広島大学図書館 三宅亜弥 氏、出版に関する諸作業に御協力いただいた広島大学出版会関係者各位に感謝の意を表します。

あり、本シリーズの使命は達成したといえます。なお、本シリーズの全タイトルを精読し貴重なアイデアや御助言をいただいた豊橋技術科学大学 小口達夫 氏<sup>2</sup>、タイトル「17」について御助言をいただいた京都大学名誉教授 梶本興亜 氏、冊子体の企画段階から出版まで御尽力いただいた広島大学図書館 富永一登 氏および甲斐重武 氏、「Monograph シリーズ」の名称<sup>3</sup>を提案いただいた広島大学図書館 尾崎文代 氏および上田大輔 氏、広島大学学術情報リポジトリでの本シリーズ配布を管理いただいた広島大学図書館 濱 知美 氏、表紙デザインの製作および製本作業に御協力いただいた広島大学図書館 三宅亜弥 氏、出版に関する諸作業に御協力いただいた広島大学出版会関係者各位に感謝の意を表します。

<sup>1</sup> 著者印税も¥0です。  
<sup>2</sup> 物理化学 Monograph シリーズ普及委員会委員長  
<sup>3</sup> 古くは「疑問の発生シリーズ」という名称でした。

<sup>1</sup> 著者印税も¥0です。

<sup>2</sup> 物理化学 Monograph シリーズ普及委員会委員長

<sup>3</sup> 古くは「疑問の発生シリーズ」という名称でした。

ご静聴ありがとうございます

お疲れさまでした